

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月17日(土)
- 実施場所: ジョージア州グイネット郡GAS South コンベンションセンター
- 訴求対象: 日・ジョージア議員コーカスや市長をはじめとする政治家、現地日系企業、現地米国企業、日本語教師等
- 開催規模: 約70名

## 概要



- 米国南東部最大規模の日本祭りである**JapanFest**において、**現地政治家や地元VIP等ゲスト、日系企業の方々を招待した上で現地における日系企業の理解を深めるとともに相互の関係構築を図るレセプション・イベントを開催。**
- JBiG (Japanese Business in Georgia)の各種ブースへのツアーを行い**現地への投資や貿易について理解を深める**場とした。
- NYより石見神楽のパフォーマーを招聘し、日本のことを知らない人にも知っている人にもあまり触れたことのない伝統芸能を鑑賞する機会を提供した。

## 効果



- ジョージア州には約660社の日系企業が所在しているが、今回JapanFestにブースを出展していたJBiGがそれぞれの事業内容の説明や話をする機会を設けることにより、市長や議員など日本にあまり馴染みのない方々にも理解を深めてもらうきっかけとなった。
- **コーカスメンバーである議員も招待したため、コロナ明けで2019年以降3年振りの対面開催であるJapanFestに出席してもらうことで日本のプレゼンスを高めるだけでなく、コーカスにも日本への意識を持ち続けてもらうきっかけとなった。**
- 経済面以外でも起業家や教育関係者等を招くことにより、多方面で日本に関する関係構築を深める機会を提供することができた。

2

# ジョージア州議会日本コーカスとの関係強化

【在アトランタ総領事館】

## 日時等



前田総領事



日本コーカス共同議長と

- 実施日時: 2023年2月8日(水)
- 実施場所: 在アトランタ総領事公邸(ジョージア州)
- 訴求対象: ジョージア州議会日本コーカス所属議員、日系企業関係者
- 開催規模: 23名

## 概要



ハレル州上院議員



日系企業による説明

- **ジョージア州議会日本コーカスの所属議員及び日系企業関係者を招待してレセプションを開催した**(JETRO及びジョージア日本人商工会の協力を得て実施)。
- 2022年11月の選挙を経て日本コーカスのメンバーは一部入れ替わっており、新たな構成となった**日本コーカス所属議員と日本関係者とが意見交換する機会**を提供した。
- **日系企業の役員等から各社の事業や地域における貢献について議員に説明した。**

## 効果



説明を聞く出席者



企業関係者と議員

- **ジョージア州議会議員が日本関係者と意見交換することで我が国に対する理解を深めることができた。特に、日系企業が実施する事業や地域におけるその貢献について議員が詳しく知る機会となった。**参加した議員が今後、日系企業の活動をサポートすることが期待され、これによって**日系企業の活動の活発化**が期待される。
- アンケート回答者の**71%が日本についての理解が非常に深まった**と回答した。また、**全員が日本の好感度が高まった**と回答した。

3

# 日本産食材の輸出促進に向けたプロモーション

【在アメリカ合衆国大使館】

## 日時等



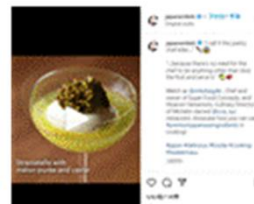
- 2022年10月～2023年3月
- シェフによる動画と実演による訴求
- 実施場所: ワシントンDC、ニューヨーク  
Hirohisa(割烹), Sushi Taro(寿司)、  
icca(和食・イタリアン)
- 訴求対象: ワシントンDC近郊都市のレストラン関係者

## 概要



- 日本の食材のうち、最近輸出解禁されて輸出拡大が期待される**果物(メロン、柿)**、また**日本食や出汁文化で注目されている昆布**に**焦点**を当て、高級レストランでの普及を目指し、一流シェフによる**料理シーンを、SNSによるビデオの発信(3種類)**するとともに、**外食関係者やインフルエンサーをゲストにしたレストランでの試食イベント**を実施(3つのレストランで計3回)。
- ミシェラン1つ星や当地において高評価を得ており、**他のレストランシェフからも注目されている日本食レストランシェフと連携。**

## 効果



- YouTube、Twitter、Instagram、facebookを活用し動画を発信し、当地の食関係メディアが注目をしている媒体がリツイートやシェアをしたことにより、**一般消費者のみならず、狙いとしていた食関係のインフルエンサーにも波及した**と考えられる。
- 試食イベントには、アメリカ料理を提供する**3つ星レストランシェフや、アフリカ系アメリカ人初のミシュランシェフなども参加**し、日本のメロンや昆布を使用した料理法についてシェフに熱心に質問したり、ビデオの共有を求めるなど、**他のレストランのメニューへの普及にも一定の効果**があった。
- これら食材への当地での注目度の高さが**共同通信等(地方紙、英字)でキャリー**され、**輸出にチャレンジ**を考えている産地や事業者への**説明**に活用。

# 4

## 日米がん医学共同研究推進イベント

【在アメリカ合衆国大使館】

### 日時等



イベントフライヤー

- 実施日時：2022年6月17日(金)
- 実施場所：大使館旧公邸(ハイブリッド形式)
- 訴求対象：日米の研究者、政府関係者、製薬企業等
- 開催規模：120人

### 概要



Steven A. Rosenberg博士



河上裕博士



Barry S. Collier博士

- 日米のがん分野における協力強化を目的に、NIH(米国国立衛生研究所)・AMED(日本医療研究開発機構)の協力の下、「**日米がん共同研究の推進**」をテーマに、**日米のがん研究の著名な研究者より、最先端の研究内容、研究資金、研究キャリア等に関する講演及び聴衆参加型のグループディスカッション**等を実施した。
- 主な講師・講演内容
  - ✓ Steven A. Rosenberg博士：NIH-NCIがん免疫学チーフ(リンパ球によるがん治療)
  - ✓ 河上裕博士：国際医療福祉大学免疫学部長、慶応大学名誉教授(がんの免疫治療)
  - ✓ Barry S. Collier博士：ロックフェラー大学病院筆頭医師(橋渡し研究の決定的な役割) 他12名
- ディスカッションテーマ
  - ✓ 日米共同研究の推進方策
  - ✓ 日米の研究環境・研究者のキャリアパスの違い

### 効果



当日の様子①



当日の様子②



当日の様子③

- 今回のイベントでは、**研究・創薬・ベンチャーなど幅広いバックグラウンドを持つ日米で活躍する研究者が数多く参加したこともあり、日米の研究環境や研究者のキャリアパスの違いなどを含めて、日米医学共同研究の推進に向けて幅広い議論が展開され、産学官含めた日米研究協力の重要性に対する理解の強化、取組の促進、本年5月の日米首脳共同声明のフォローアップにも資するイベント**となった。
- 参加者からは、「**日米から参加可能な素晴らしい会**」「**講演の質が高かった**」「**ネットワーキングがよかった**」「**来年のAMEDの日米共同研究事業に応募したい**」といった意見が挙げられたほか、イベントのアンケート結果では、イベント全体の満足度について、「**満足**」「**おおむね満足**」の合計が約8割、**今後同様のイベントへの参加希望も多く寄せられた。**

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月20日(火)
- 実施場所: 旧大使公邸
- 訴求対象: 日米日本酒関係者
- 開催規模: 120名程度

## 概要



- 討論パート(以下、サミット)においては**日本およびアメリカの酒造メーカー、輸入業者、流通業者、連邦政府規制当局など、日本酒の「サプライチェーン」に関わる50人近くの主要関係者が一堂に会した。**
- (1)北米の酒造業界・市場の現状はどうか、(2)将来はどうありたいか:10年後、50年後のあるべき姿、(3)その目標を達成するための課題と機会、(4)**北米酒造組合が日米のパートナーとともに日本酒業界の振興に貢献できる具体的な分野について、議論した。**
- サミット終了後、サミット参加者だけでなく、より多くのゲストに日本酒を紹介するため、在アメリカ合衆国大使館(旧大使公邸)にてネットワーキング・レセプションを開催し、116名が参加した。
- 冒頭、フレンチ・ヒル下院議員(アーカンソー州選出)、マーク・タカノ下院議員(カリフォルニア州選出)が来賓挨拶を行い、続いて富田大使が乾杯の挨拶を行った。

## 効果



- サミットに参加した50名は、皆積極的に発言し、それぞれの経験や問題意識を共有した。その後のレセプションにおいて参加者同士でさらに関係を構築したことで、**今後の日本酒の北米市場における拡大・振興に向けて、関係者間の協働へつながるものとなった。**
- 日本酒の北米における振興は経済効果を超えて、日米関係をさらに強固なものとする上で有益であるとの認識を連邦議会議員も含めて共有することで、さらなる振興への士気を高める効果があった。

6

全米日米協会連合会(NAJAS) 日米広報文化プログラム

【在アメリカ合衆国大使館】

■実施時期・実施場所

(1) 各日米協会主催の各地域に重点をおいた広報文化プログラム (Japan Currents)

日時	主催団体	トピック	参加者数・視聴者数
①2022/11/16	ジャパン・ソサエティ	日米関係・政治動向	90名
②2023/1/12	ワシントン州日米協会	女性活躍	60名
③2023/1/24	ワシントンDC日米協会	日米関係	1964名
④2023/2/9	オレゴン日米協会	女性活躍	200名
⑤2023/2/17	ダラス・フォートワース日米協会	日米経済	80名
⑥2023/2/24	ヒューストン日米協会	テクノロジー・エネルギー	115名
⑦2023/3/9	ジョージア日米協会	テクノロジー・エネルギー	200名
⑧2023/3/10	南カリフォルニア日米協会	テクノロジー・エネルギー	35名
⑨2023/3/15	インディアナ日米協会	日米経済	160名
⑩2023/3/23	ノースカロライナ日米協会	日米経済	50名
⑪2023/3/23	ペンシルベニア日米協会	女性活躍	102名

(2) 日米交流プログラムが少ない地域に重点を置いた広報文化プログラム (Outreach events)

①2022/11/18	アイダホ州ボイジー	日本文化イベント	参加者100名
②2022/2/10	ネブラスカ州オマハ	日米経済イベント	参加者115名
③2023/3/5	オレゴン州ベンド	日本文化イベント	参加者20名
④2023/3/31	フロリダ州マイアミ	日米協会立ち上げイベント	参加者75名

■関係機関 全米日米協会連合会(NAJAS)、各地日米協会

■訴求対象 地元有力者・若年層を含む一般参加者

■開催規模 各イベントにつき20~2000名程度

■概要・効果

【概要】令和4年度は、各地日米協会が実施した各11地域における広報文化プログラムの支援、日米交流プログラムが少ない重点地域において各地協会が実施した4件の広報文化プログラムの支援がNAJASによって行われた。プログラムの内容は日米間および地域におけるテクノロジーとエネルギー、経済トレンド、政治動向、女性活躍など、多岐にわたった。

【効果】米国での新型コロナウイルス感染状況が落ち着いたため、令和4年度は全てのプログラムが対面あるいはハイブリッドで行われ、草の根交流の重要な機会となり大きな効果が得られた。具体的には、各地日米協会からはプログラム実施によって、地域における日米協会のプレゼンスの向上、日本の対米投資や雇用創出を含む対日理解の向上につながったという声が寄せられ、草の根における日米関係・日米経済関係の促進に寄与したと考えられる。



1月24日DC日米協会  
(富田駐米大使が参加)



2月9日オレゴン日米協会



2月17日ダラス・フォート  
ワース日米協会

7

# 量子技術産業基盤の日米連携を目指したイベント

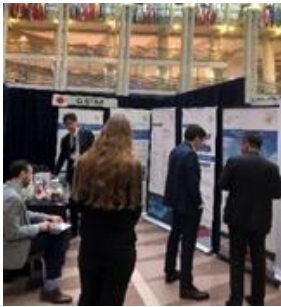
【在アメリカ合衆国大使館】

## 日時等



- 2022年11月30日(水)～12月1日(木)
- 実施場所: ロナルドレーガンビル(ワシントンDC)
- 訴求対象: 企業関係者(スタートアップ企業含む)、連邦政府関係者、メリーランド州政府関係者、大学関係者等
- 開催規模: **200名以上(うち説明実施は約80名)**

## 概要



メリーランド州知事への説明

- 日米両政権の重点施策であり、日米競争力・強靱化(コア)パートナーシップの重要施策に位置付けられた量子科学技術について、日米間の連携を促進するために、**ワシントンDCで初めて開催されることとなった第1回量子世界会議において我が国としての唯一のブースを出展。**
- ブースでは、「量子技術による新産業創出協議会(Q-STAR)」との連携の下、Q-STARの組織概要、メンバー企業、活動内容、我が国が得意とするユースケースなどの紹介を実施。
- ブースには**日本との連携に興味をもつ米国の企業関係者、議会関係者、連邦政府関係者、州政府関係者、大学関係者など多くの来場を得た。**

## 効果



メディアでの取り上げ

- **スタートアップ企業を中心にQ-STARとの連携に関心を示す企業が多数あるとともに、我が国が誇るユースケースの開発に興味をもち、Q-STARに対してソリューションの紹介を求める企業もあった。**
- アンケートに回答した100%が日本ブースに満足したとの回答をしており、また90%以上が我が国の量子技術の社会実装に向けた取組への理解が深まったと回答した。
- 「**テクニカリー**」誌のウェブサイトにおいて、「**日本からワシントンDCへ、量子世界会議の参加者7名が2023年の技術進化を予測**」というタイトルの記事が掲載。本記事では日米協力の展望に関するコメントも掲載されている。

## 日時等



- 実施日時: 2023年1月20日～3月15日(全7回・各回60分)
- 実施場所: オンライン形式(Zoom)
- 訴求対象: 貿易関連業務に従事する日本人女性

## 概要

ゲストスピーカー



- テーマ: 通商交渉に必要なスキルと、交渉関係セクター(WTO、USTR、議会、省庁、民間企業)とよりよい連携をはかるための方法を学ぶ。
- 態様: ウェンディ・カトラー・アジア・ソサエティ副所長(元米国次席通商代表代行、元TPP米国日本担当交渉官)がモデレーターとなり、同氏やゲストスピーカーが講演し、参加者と質疑応答。
- 元通商代表部(USTR)職員や元通商担当議会補佐官(現在は、民間企業、法律事務所、大学、シンクタンク等で活躍)、商務省職員らが、各自のキャリアと経験を踏まえて、貿易関連業務に従事する際の留意点やキャリアパスについて講義。活発な意見交換が行われ、参加者のエンパワメントがはかれた。

## 効果

- 事業後アンケートでは、回答者14人中10人(71.4%)が期待を上回る内容と評価。同14名中9名が各回で扱うテーマ選定のバランスが良かったと回答、3名がより貿易に、2名がより女性のエンパワメントに特化した内容を希望。参加者が最も有意義であったと回答したセッションは、カトラー氏による交渉術、次にWTO等マルチの場での交渉術。
- 参加者の声「通商分野で活躍するスピーカーの個人的体験談、苦労した経験等を聞くことで、自分が今直面している課題に対してどう対応したらよいか、参考になった」「交渉するにあたって必要なスキルが必要か、カトラー氏の体験談を交えながら学べたのは有意義であった」「女性がキャリアを継続するうえで直面する課題は日米共通なのだと知る機会となった」



9

# Japan Day “Fall Festival”

【在アメリカ合衆国大使館】

## 日時等



フライヤー

- 実施日時: 2022年10月2日(日)
- 実施場所: メリーランド州ハワード郡コロンビア地区
- 訴求対象: ハワード郡在住の米国人
- 開催規模: 340人 (COVID対策のため、事前予約制とし、参加者数を制限。)

## 概要



当日の様子①



当日の様子②

- メリーランド州・神奈川県の良い姉妹州関係及び同州における日系企業の活動を印象づけるべく、日本文化紹介事業を実施。
- **メリーランド州アジア太平洋系アメリカ人委員会メンバー**や**カルビン・ボール・ハワード郡長**らが出席する等地元行政との関係深化の場ともなった。
- 日系企業による**超電導リニアの紹介、日本食の紹介・販売**の他、生け花、茶道の体験型デモンストレーション、パフォーマンス等を対面で実施。
- メリーランド州ハワード郡には中国・韓国からの移民が多く、日本文化への馴染みが薄い中、居住者が日本食・文化に触れる機会となった。

## 効果



郡長SNSによる広報

- メリーランド州内で建設が検討されているJR東海による超電導リニア計画について、州民に周知することができた。
- 昨年の実績が評価され、「郡内の多様性と包摂性の向上に寄与した」として主催者代表及びメリーランド・神奈川姉妹州委員会に大使、**ハワード郡長から感謝状が贈呈**された。
- アンケート結果では、72.7%の参加者が「大変満足した」、27.3%が「満足した」と回答。さらに、このイベント参加後、日本への好感度が高まったかという質問には、「大変高まった」が86.4%、「高まった」が9.1%となり、**合計95.5%の参加者が肯定的な反応を示した。**

## ⑩ 当地レストラン協会と連携した日本食及びインバウンドの プロモーション(ラミーズ出店) 【在アメリカ合衆国大使館】

### 日時等



- 2022年10月13日(木)ワシントンDC
- 実施場所: ウォルターEコンベンションセンター
- 開催規模: 3000人  
(シェフ、バーテンダー、ディストリビューター、フードジャーナリストなど食産業に従事する者が参加)

### 概要



- メトロポリタンエリア最大のレストラン関係者の業界団体レストラン協会が、**2007年から毎年開催**。本年にも最も活躍したレストランシェフやサーバーなどを表彰し、フードインダストリーを盛り上げる目的で実施。
- 出展により、**2000名を超えるレストラン・フード業界関係者、140を超えるレストラングループやホテルグループなどへの日本食材・日本酒の売り込み**を行った。
- 昨年に引き続き、**岩手の和牛や福島のコメなど、東日本大震災からの復興に焦点**を当て、和牛寿司を提供するなどプロモーションを実施した。

### 効果



- 大使館のブースには、和牛寿司を食べるために本式典に参加したなどの声も聞かれ、長蛇の列ができるなど参加者に好評だった。**SNSでも延べ15万人近くフォロワーにリーチアウト**。
- 福島産のコメを使っていることを明示していたものの、放射能に関する懸念の声は聞こえず、**福島産の農産物の受け止めを評価する良い機会**となった。
- 出展を通じて、当地のシェフやジャーナリストの東北への招へいが実現し(**食品輸出支援プラットフォームと連携**)、その様子はNHKなどの日本メディアに加えて**米国メディアでも記事化**されるなど、継続性のあるプロモーション事業となった。

# 11 各国大使館料理コンテストへの出店(大型イベントと連携した日本産食品・アルコールのPR)【在アメリカ合衆国大使館】

## 日時等



Welcome!  
The Embassy Chef Challenge is  
now part of the International  
City Food Festival  
OCTOBER 13 - 15, 2022



- 2022年10月13日(木)
- 実施場所: スミソニアンアメリカンアートミュージアム
- 開催規模: 1000人  
(フードジャーナリストなどに加え、一般消費者がチケットを購入して参加)

## 概要



- 各国大使館の公邸シェフや、連携したレストランのシェフなどにより、**料理や飲み物を競うワシントンDCの名物イベント**であり、コロナ後は初開催となった。
- **沖縄返還50周年記念の一環**として、沖縄料理や琉球泡盛をプロモーションする場として、沖縄県庁と連携してブース出展を行った。
- ブースの運営は、**当地で日本食レストランを展開するDaikayaグループの協力を得て実施**。タコライスと琉球泡盛のコーヒーカクテルを提供するとともに、インバウンドのPRも実施した。

## 効果



- ブースには、沖縄にゆかりのある米国人も多く訪れ、沖縄というブランドが、**通常の日本食のファン層とは異なったグループに訴求**するなど、一島のPRにとどまらない成果を得た。
- ブース出展を通じて沖縄県庁に加え、当地で人気のDaikayaグループとも連携を強化することができ、**グラスルーツの関係強化**につながった。
- グランプリは比大使館や中国大使館が獲得。これらの大使館はコロナ前から継続出展しており、場所も目立つスペースが提供されていたことから、**日本のプレゼンスを高めるためには、継続出展が重要**であることが確認された。

12

在日米軍経験者等とのネットワーク構築・強化事業

【在アメリカ合衆国大使館】

日時等



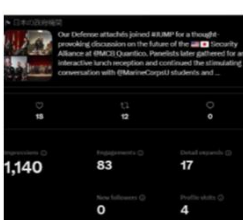
	日時・場所	対象・規模
①	2023年2月25日 コロラドスプリングス(コロラド州)	空軍士官学校指導部・日本語学習者を含む学生、同地市民約100名
②	2023年3月2日 ワシントンDC	米国政府関係者、シンクタンク、民間企業、学術関係者 11名
③	2023年3月15日 クワンティコ(バージニア州)	海兵隊大学指導部・学生約50名 課目として全学生へオンライン配信

概要



- ①コロラドスプリングスの産業、雇用において空軍基地は大きな役割を果たしており、**空軍士官学校及び南コロラド日米協会との協力**により、同校において**日米安保戦略につき経済的な視点も含めた議論及び交流事業を開催**。スティルウィル元東アジア・太平洋担当國務次官補、ハリス元米太平洋軍司令官、三上デンバー総領事等が講演及び参加者との議論を行った。
- ②ワシントンDCの日米関係政策立案関係者間の**緊密なネットワーク構築**を図る小規模事業を開催。石井前駐インドネシア大使を中心に**経済安保やインド太平洋地域における両国のプレゼンス向上のための協調等**について議論を行った。
- ③クワンティコにある**海兵隊大学**では、日本勤務経験者または今後日本勤務が見込まれる学生が多く学んでいる。ヘニガン同学校長及びオドム国防省統合参謀本部J3副部長、菅井在米日本大使館防衛駐在官等が**東アジアにおける日米間の経済面と安保面での協力に焦点を当てた講演及び参加者との議論**を行った。

効果



- 米国内外において**米軍関係者**は幅広いネットワークを有し、一定の影響力を持ちうる存在。特に日本勤務を共に経験する家族も含めれば、**日米関係の重要性に対する、各地域での草の根レベルでの理解者として重要な存在**。各事業のスピーカーを務めた米退役・退役将官も在日米軍経験者。
- コロラドスプリングス及びクワンティコにおける事業では、参加した**各教育機関の幹部、在日米軍経験者や現在日本語を学習するなど今後日本勤務が見込まれる軍人等から、経済安保や経済圏を含む日米関係の観点から議論ができたことへの評価**があった。
- **日米同盟やインド太平洋地域の平和と安定の問題は今や経済的側面を抜きに考えられないことが、日米経済関係の重要性を、日米双方の有識者等から発信し、米軍関係者等の関心の幅を広げ、認識を新たにする機会となり、日米経済関係の強化に資するものとなった。**
- 大使館SNSによる発信も行い、インプレッション数1140の反響があった。

## メリーランド神奈川姉妹州40周年記念レセプションの開催 【在アメリカ合衆国大使館】

### 日時等



黒岩神奈川県知事

- 実施日時: 2022年10月19日
- 実施場所: メリーランド大学ボルチモアカウンティ校
- 訴求対象: メリーランド州政府、姉妹都市委員会、日本語を学ぶ州内大学生
- 開催規模: 70名

### 概要



ウォーベンスミス州務長官

- メリーランド州と神奈川県の友好提携40周年を記念し**、両地域の更なる交流と発展に資するため、メリーランド大学ボルチモアカウンティ校(UMBC)において友好記念レセプションを実施した。
- 神奈川県から現地を訪問中であった黒岩県知事のほか、メリーランド州政府からはウォーベンスミス州務長官、ボルンダ州務副長官が参加した。さらに会場となったアシュビーUMBC学長も参加し、姉妹州関係に関する高官が集う場となった。
- 両地域はコロナ禍においてもオンラインで学生交流プログラムを継続してきた。レセプションでは、交流プログラムに参加した州内大学生からの発表を通じて、友好交流の成果を確認した。
- 参加者に対して**地元日本食レストランの協力のもと日本食及び日本茶を提供し、日本文化への理解を促進した。**



塚田公使

### 効果



提供された日本食

- 州政府レベルのみならず、グラスルーツレベルにおいても日本理解を深める場となった。レセプションにはUMBCのみならず、ジョンス・ホプキンス大学や海軍兵学校などで日本語を学ぶ州内大学生が参加した。レセプション終了後、学生からは今後のキャリアにおいて日本と関わる仕事をしたい、日本企業や大使館でインターンをしたいなど、**今後も積極的に日本との関わりを持ちたいといった声が多く聞かれた。**
- ケータリング業者としてボルチモア近郊の日本人が経営する日本食レストランを利用し、**現地における日本食の普及と日系スモールビジネスの支援に貢献した。**

## 日本産アルコール飲料の輸出促進に向けた プロモーション事業 【在アメリカ合衆国大使館】

### 日時等



- 2022年6月21日(火)
- 実施場所: 大使旧公邸
- 開催規模: 150人  
(農務省やUSTRなどの政府関係者、農業団体関係者、各国農業アタッシェのほか、レストランシェフなど当地食産業関係者が出席)

### 概要



- 在アメリカ合衆国大使館旧公邸で開催される最大規模のイベントである「食と農を語るタベレセプション」と同時開催とし、**約2時間半、日本産の日本酒、焼酎、ウィスキー、ビールを紹介する試飲イベント**を行った。
- 試飲会場は、旧公邸の2階に設置。日本酒、焼酎、ウィスキー、そしてクラフトビールという4つ酒類は、カテゴリー別に小部屋に分散する形で設置した。**2階に上がってきたゲストにはSip&Exploreのパンフレット**が手渡された。
- 各部屋には、当地レストランでバーテンダーとして活躍する者などのスペシャリストが配置され、サブに加えて**ゲストからの質問に受け答えする体制が構築**された。

### 効果



- 日本酒の知名度はもちろんのこと、日本産のウィスキーや地ビールのセレクションに驚くゲストもあり、**日本産アルコール飲料の層の厚さが再確認される試飲会**となった。
- ゲストの中には、日本産のワインはないのか、と質問する者もあり、実際に**アンケートでは約8割の者が日本産ワインを試飲してみたいと答える**など、日本産ワインに対する米国消費者の興味の高さが実証された。
- **日本産ワインの輸出促進はまだ政府としても十分に組み立てていない分野**であり、こうしたイベントの機会を活用して、**今後積極的に売り込んでいくことが重要**であることが示された。

## 日時等



会場の様子①

- 実施日時: 2022年6月15日(水)
- 実施場所: 大使公邸
- 訴求対象: バージニア州政府関係者、州内地方政府関係者、州内大学関係者、州内日系企業関係者、バージニア州民
- 開催規模: 約180名

## 概要



盆栽展示



日系企業の活動紹介



日本食PRの様子①

- バージニア州リッチモンド市とさいたま市の姉妹都市関係を中心にバージニア州政府関係者を招いたレセプションを実施。
- 日本産ウナギの他、日本酒・日本産ビール・ウィスキーを提供し、バージニア州産ワイン等とのペアリングも提案するなど日本食の魅力を発信。
- バージニア州商務局とも協力し、バージニア州で活動する100を超える日系企業の活動を紹介するパネルを作成、展示。
- 盆栽業が盛んなさいたま市からは、同市盆栽美術館の協力を得て盆栽展示・パンフレット配布を実施した他、現地の国立樹木園盆栽・庭園美術館とも協力し両地域にゆかりの深い盆栽やバージニア州民の作品も展示。
- シェナンドー音楽院の学生が日米の国歌を演奏。

## 効果



日本食PRの様子②



会場の様子②

- 多くのゲストが積極的に各種展示物の前で写真撮影を行ったり、盆栽の専門家から展示物についての詳細な説明を受けるなど日本とバージニア州の関係を州政府関係者へ発信する良い機会となった。
- 用意した1,000貫ほどの寿司が、2時間ほどで終了するなど、日本食は好評であった。
- 食文化、経済、盆栽展示など、様々な角度から日本とバージニア州の経済的・文化的に強固な結びつきをアピールし、今後のさらなる相互発展にむけての布石となった。

16

# 日アラスカ姉妹都市・国際青年フォーラム

## 青年エンターテイメント発表会

【在アンカレジ領事事務所】

### 日時等



- 実施日時: (フォーラム)2022年9月～2023年2月/  
(発表会)2023年3月3日
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 日アラスカ姉妹都市交流関係の高校生・大学生、教育関係者、地方自治体関係者
- 開催規模: (フォーラム)延べ112名/(発表会)44名

### 概要



(日アラスカ姉妹都市・国際青年フォーラム)

- **2022年9月から2023年2月まで毎月1回の頻度で合計6回開催**され、延べ79名の高校生・大学生、教員・地方自治体関係者をはじめとするオブザーバー延べ33名の合計112名が出席。
- 犬橇レースでアジア人として初めての優勝者である今野道博氏、アンカレジ日本人学校理事長で臨床心理士の矢崎美由紀氏、英語教師・姉妹都市コーディネーターのトニー・ハタノ・ウォーレル氏、音声言語病理学者でJETプログラムの参加経験があるアラナ・バクスター氏等、**それぞれの分野における専門家による講義が実施**され、参加者から様々な質問が飛び交い、活発な意見交換がなされた。

(青年エンターテイメント発表会)

- 青年フォーラムによって構築されたネットワークを基盤とし、**アンカレジ市周辺や北海道等の日アラスカそれぞれの名所や特産品をアピールする発表会を開催**し、学生23名、教員・地方自治体関係者等オブザーバー13名を含む合計44名が出席。

### 効果

- **北海道天塩町立天塩中学校**による天塩町の特産品(乳製品やシジミ)や自然、アラスカ・ウエスト・ホーマー小学校の児童とのオンライン授業に関する**当日の発表内容が北海道新聞に掲載**された。
- 動画やアプリを活用しながら日アラスカ双方の魅力を発信することで、参加者の対日、対米の理解を深めることができる機会となった。

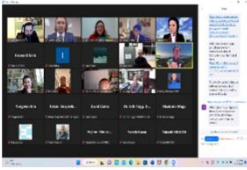


日時等



- 実施日時: 2023年1月18日(水)・19日(木)
- 実施場所: オンラインで開催
- 訴求対象: アラスカ州の研究者、政治経済関係者  
日本の北極関係者等
- 開催規模: 79名(1日目43名、2日目36名)

概要



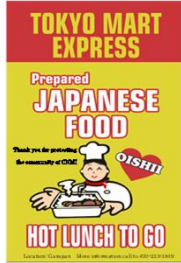
- 2022年1月に引き続き開催された今回のシンポジウムでは、(1)恐竜研究活動、(2)環境・漁業科学における研究開発活動、(3)環境に配慮した慎重な経済開発活動、(4)活発な地域コミュニティ活動の議題で、専門家によるプレゼンテーション及び質疑応答が2日間行われた。
- 冒頭、竹若北極担当大使より日本の北極政策について述べた他、マカウスキー上院議員及びペルトラ下院議員による二国間北極協力の重要性を強調するビデオメッセージを紹介した。
- 討議セッションでは恐竜・漁業・アイスセラー等北極圏における様々な研究協力が発表された他、経済開発についてもアラスカLNG開発、脱炭素ビジネス活動、日アラスカ直行便などの分野で発表・議論が行われた。
- 議題(4)の「活発な地域コミュニティ活動」では、アラスカ・ネイティブス連盟 (AFN) 会長からの発表に加え、千歳アイヌ協会からアイヌ文化伝承活動についてのビデオメッセージが紹介された。

効果

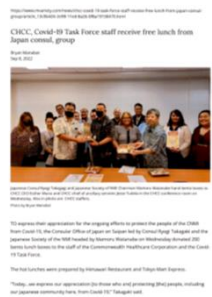


- 多くの米国関係者から高く評価され、アンケートでも次回開催を望む声があった。
- 特に、三菱重工株式会社幹部からの「ビジネスとしてのエネルギー転換」というプレゼンテーションにより、経済分野における日アラスカ間の協力の重要性を強調することができた。
- 後日、軍関係者との意見交換の場で本シンポジウムについて言及した際、先方より興味が示された。

### 日時等



### 概要



### 効果

- 実施日時: 2022年9月7日(水)
- 実施場所: サイパン市コモン・ヘルスケア公社(サイパン唯一の公立病院)
- 訴求対象: 北マリアナ政府コロナ対策チーム、サイパン市民
- 開催規模: 贈呈式参加者約25名

- 2021年11月から2022年3月にかけて、北マリアナ諸島でも新型コロナウイルス感染症の拡大がみられ、この間、コモン・ヘルスケア公社を中心とするコロナ対策チームが水際対策、予防接種、患者への対応などを行い、死者数を30名余りに抑えるなど尽力した。
- 現地で生活する邦人コミュニティとともに、コロナ対策チームへの謝意を示すとともに、その労をねぎらいつつ日本との文化的結びつきを示し、経済関係の強化にも資することを狙って、**邦人業者が作る弁当200個を対策チームに贈呈**した。
- 贈呈に当たっては、日本の弁当の利用者・愛好家が増えることを狙って**プロバイダーを紹介したチラシも配布**した。
- サイパン領事事務所フェイスブックにも記事を掲載するとともに、日本の弁当にかかる文化を紹介するものとして、**Japan Video Topicsで駅弁を紹介した動画へのリンク**をつけた。

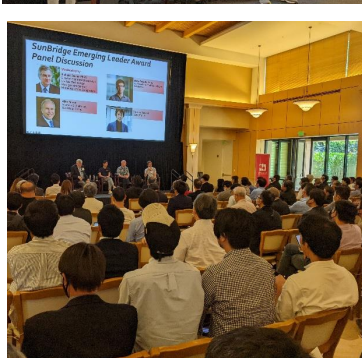
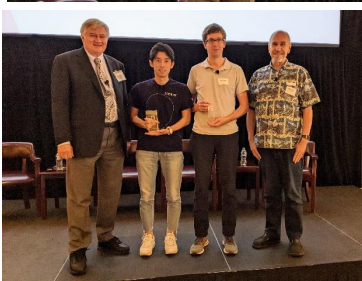
- 8日の地元紙サイパン・トリビューン1面で本件贈呈について報じられ、マリアナ・バラエティー紙もウェブで記事を配信した。
- **コモン・ヘルスケア公社のムーニャCEOから邦人社会が彼らの仕事に注目していることに対する謝意**が示されるとともに、邦人業者2社および日本人会からもプロジェクト実施に対する謝意が示された。
- 記事には今回弁当を調達した邦人業者についても報じられているため、記事を見たサイパン市民も関心を持ち、実際の弁当販売の増加、ひいては草の根レベルでの経済関係強化につながる事が期待される。

19

# 「日米イノベーションアワードシンポジウム」の開催

【在サンフランシスコ総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2022年7月14日(木)
- 実施場所: スタンフォード大学
- 訴求対象: シリコンバレー及び日本のスタートアップ企業関係者、投資家、産学交流関係者、大学関係者等
- 開催規模: 約300名

## 概要

- 日米間の相互理解を深めることを目的とした非営利組織である北カリフォルニア・ジャパンソサエティとスタンフォード大学の共催で、**破壊的イノベーションを起こすスタートアップを取り上げるイノベーションアワードシンポジウムを開催**。同イベントは2011年から開催され、**本年度で12回目のシンポジウム**となる。
- **優れた日米のスタートアップ企業を選出・表彰**することで、両国のイノベーション活動活性化やビジネス発展を促進。
- さらに、米国市場を狙う日本発スタートアップ企業の事業内容をシリコンバレーのビジネス関係者にプレゼンし、**シリコンバレー関係者とのネットワーキング機会を創出**。

## 効果

- 昨年及び一昨年はオンライン開催だったものの、今回は3年ぶりに対面形式で開催し、**参加者数も昨年より増加**。
- 今年度の**受賞企業はソフトウェア、AI、ロボット、核融合、宇宙通信など多岐にわたる分野から選出**されており、日本発スタートアップの活動が具体的事業を通じ注目され、スタートアップ関係者、産学交流関係者、大学関係者に対して、**日本のプレゼンスを示す好機**となった。

日本産酒類普及事業(ネバダ州秋祭りにおける酒パビリオンの設置)  
【在サンフランシスコ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2022年10月22日(土)
- 実施場所: ネバダ州ヘンダーソン市
- 訴求対象: 日本産酒類に興味のある一般消費者
- 開催規模: 約250名

概要



- ネバダ州最大の日本文化発信の場であるネバダ秋祭りにおいて**日本産酒類をPRするため、同会場に酒類のテイastingブース(酒パビリオン)を設置。**
- 関係業者の協力も得て、**日本酒に限らず、日本産の焼酎、泡盛、ウイスキーやジンといった様々な酒類**を用意。
- また、催しの冒頭1時間を日本産の蒸留酒に限定したプログラム(カクテルレセプション)とし、**ラスベガスで活躍するミクソロジストが作る焼酎や泡盛を使用したカクテルを提供。**参加者に対して、**焼酎や泡盛といった日本産蒸留酒を知ってもらう機会を創出し、カクテルベースとしても魅力的であること発信。**
- 当日は多くの参加者が訪れ、ブースでのテイastingや事業者とのディスカッションを通じて**日本産酒類の特徴や楽しみ方を学ぶ機会**となり、会場は盛況となった。

効果



- **参加者の多くが20代及び30代**であり、これから米国において主要な消費者となる年齢層に的確に訴求できた。
- イベント参加者へのアンケートでは、満足度に関する質問において、**10段階評価で最高評価の10点を選択した回答者が約8割を占め、非常に満足度の高い事業**となった。
- ラスベガスの日系情報紙「ラスベガス・ジャパンタイムズ」に酒パビリオンの様子が掲載。

## 日時等



- 実施日時: 2022年8月20日(土)
- 実施場所: 日系アメリカ人サンノゼ歴史資料館
- 訴求対象: 清酒に興味のある一般消費者
- 開催規模: 約80名

## 概要

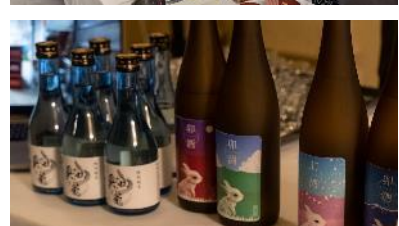


- 新型コロナウイルスの蔓延により影響を受けた**サンノゼ日本町を活性化するため**、日系アメリカ人サンノゼ歴史資料館(JAMsj)と共催し、**酒テイastingイベントを実施**。
- 現地の清酒関連事業者4社の協力を得て、**純米大吟醸酒、にごり酒やスパークリング酒など、様々なタイプの清酒を試飲できるテイastingブースを設置**するとともに、サンノゼ日本町の日本食レストラン等の協力を得て、**清酒とのペアリングを楽しむ軽食を用意**。
- 参加者は、各ブースで清酒のタイプによる味の違いやペアリングについてレクチャーを受けるとともに、テイastingを楽しんだ。
- また、イベントに集まった幅広い客層に対して、イベントを共催する**JAMsjの活動紹介、サンノゼ日本町の飲食店のPR**を行った。

## 効果

- 様々なタイプの清酒を試飲できるテイastingブースを設置し、**各社商品のPR機会の創出による企業支援、現地における清酒の普及**を図ることができた。また、イベント後に実施したアンケートでは、**回答者全員が今回の催しに大変満足もしくは満足した**と回答。
- 同イベントは、JAMsjを中心にサンノゼ日本町のコミュニティや清酒関連事業者の協力のもとで実施され、**サンノゼ日本町のコミュニティ活性化及び日系企業のプレゼンス向上**にも繋がった。

## 日時等



## 概要

- 実施日時: 2023年2月10日(金)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: レストランやフードテック等の食品関連事業者
- 開催規模: 約60名

- サンフランシスコ市の経済団体「Global SF」が令和5年3月に予定している訪日プログラム「フードイノベーションツアー」に向け、同団体と共催し、**日本の伝統的な食文化の一つである発酵食品に着目したセミナー及びレセプションを開催。**
- セミナーにおいて、発酵技術を活用する当地の**フードテック事業者から見た日本の魅力・関心事項を紹介。**
- また、日本の伝統的な発酵技術として、**木桶仕込み醤油・味噌の製造業者から、歴史や技術を紹介。**
- レセプションにおいて、上記の醤油・味噌を用いた和食を提供するとともに、当地の事業者の協力を得て、**日本産酒類、抹茶飲料の試飲ブースを設置し、日本産農林水産物の魅力を発信。**

## 効果

- 訪日プログラムの参加者の多くは日本の発酵技術や食品に対して高い関心を抱いており、こうした機会をとらえ、**醤油・味噌、酒類といった日本の伝統的な発酵食品について効果的に発信**できた。
- イベント実施後のアンケートでは、回答者のほとんどが満足度評価で高評価と回答しているほか、今後の日米間の食に関する新たなビジネスに期待が寄せられた。

## 日ーカリフォルニア姉妹都市ネットワークワークショップの開催 【在サンフランシスコ総領事館】

日時等



- 実施日時: 2022年12月9日(金)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: 北中部加州姉妹都市関係者
- 開催規模: 約70名

概要



- **姉妹都市活動の活性化及び姉妹都市関係者間の横のつながりの強化のため**、非営利団体日カリフォルニア姉妹都市ネットワークとの共催により、総領事館管内の**姉妹都市関係者を対象にしたワークショップ及びレセプション**を開催。



- 開催に当たっては、**各姉妹都市協会が課題とする若い世代の参加**をテーマに掲げ、**若い世代の出席枠を別枠で確保しつつ、関連する基調講演等を実施**。



- レセプションにおいては、各地の親日的なリーダーが集まる機会を捉え、日本食及び清酒の普及促進に向けて、公邸料理人による日本食の提供や**日本と姉妹都市関係を持つ自治体(サンフランシスコ市及びオークランド市)の清酒メーカーによるテイasting**を実施。

効果



- コロナ後の交流再開に向け、**姉妹都市関係者間のネットワーク再構築に貢献**(アンケート回答者の8割がイベントの満足度を5段階評価で満点と評価するとともに、ネットワーキング主な成果として評価)。



- 12名の若い世代の代表者が出席し、**次世代リーダーの育成とネットワーキングに貢献**。
- **日本食及び清酒の普及に貢献**(アンケート回答者の9割にとって参加した清酒メーカーを初めて知る機会となった)。
- 姉妹都市交流の活性化を通じ、**対日理解の促進、親日派の育成**という点で、**日系企業が円滑にビジネスを展開できる環境づくりに貢献**。

## 日時等



- 実施日時: 2022年10月20日(木)
- 実施場所: カリフォルニア州サニーバール市
- 訴求対象: 米国企業ビジネス関係者、カリフォルニア州政府関係者等
- 開催規模: 約150名

## 概要



- 本年3月に日本と加州における気候変動対策等に関する協力覚書が更新署名されたことを踏まえて開催。米国企業ビジネス関係者や加州政府関係者等に対し、シリコンバレーを中心に活動する**日本企業の先進的な気候変動分野の取組やベストプラクティス等について認知度を向上させ**、日本企業と協業等しているグリーン系スタートアップの紹介と共に、**米国企業が日本企業と同分野での協力を検討する機会**を創出。
- **加州クナラカス副知事のビデオメッセージ、気候変動分野の有識者によるパネルディスカッション、先進的な取組を行っている日本企業5社とスタートアップ3社のプレゼンテーションなど、活況を呈した。**
- 休憩時間には、サンフランシスコ・ベイエリア在住で活動するKyle & Suが三味線演奏を披露。

## 効果



- 参加者アンケートでは、**10点満点の満足度で、8点以上とした者が8割を超えた。**また、興味深かった企業として、日本企業を挙げる声も多く、**日本企業の取組やベストプラクティス等の認知度向上に繋がった。**
- 日本企業と(プレゼンしたスタートアップを含めた)米国企業との協業が今後さらに進展することを期待。



## 日時等



## 概要



## 効果



- 実施日時: 2022年7月～11月
  - 福岡市(7月22～31日)
  - クラフトバレー(富山県氷見市・南砺市・高岡市、石川県小松市、岐阜県飛騨市)(10月7～16日)
  - 岩手県奥州市(10月21～23日)
  - 神戸市(10月28～11月13日)
- 実施場所: サンフランシスコ日本町
- 訴求対象: 一般消費者等
- 開催規模: 14,193人

- サンフランシスコ日本町所在のモールの空きテナントを活用し、非営利団体「Japantenna」による運営の下、参加地方自治体との共催により、**各地方自治体の文化・特産品や観光資源等を一定期間発信するアンテナショップを展開。**

(1) 地方企業の海外進出促進

- **計75社の企業等が参加し、具体的な商談につながる実績(奥州市の南部鉄器、富山県南砺市の米菓商品等)も作ることができ、参加事業者の米国進出の促進に貢献。**
- 本事業の実施を通じて、**参加した企業・地方自治体はボランティアスタッフや県人会等との人脈構築に成功し、今後のサンフランシスコベイエリアを中心とした継続的な取組に資するものとなった。**

(2) 地方自治体の観光促進

- アンケートの結果、**回答者の9割以上**が各自治体に「次の訪日時に訪れたい」又は「将来訪れたい」を選択するなど、**多くの訪問者が近い将来各地方自治体への訪問を希望。**

(3) サンフランシスコ日本町の経済活性化

- **1日約650人**が店舗を訪問し、コロナ禍によって経済的に大きなダメージを負った**サンフランシスコ日本町の経済活性化に貢献。**

## 日時等



- 実施日時: 2022年5月2日(月)
- 実施場所: ラスベガス市内
- 訴求対象: レストラン、ホテルや小売店の関係者
- 開催規模: 約10名

## 概要



- ホテルやバー等が数多く存在し、泡盛の輸出先として非常に大きなポテンシャルを有するラスベガスにおいて、レストラン、ホテルや小売店の関係者に向けて、**泡盛の魅力をPRするイベントを開催**。
- 現地の泡盛取り扱い業者の協力を得て、**泡盛独自の味や製造方法、歴史等について説明**。
- また、ラスベガスで活躍している**バーテンダーを招致し、泡盛を使用したカクテルを作成する実演**を行うとともに、作成されたカクテルを試飲しながら、**味や作成方法についてバーテンダーと参加者との間での意見交換**が行われた。
- 加えて、参加者が所属するレストランやバー等で**泡盛の導入に関し検討**できるよう、**泡盛のサンプルを配布**。

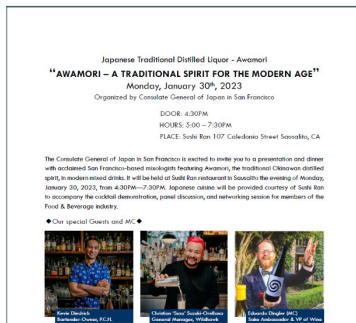
## 効果



- 参加者からは、**泡盛の特徴や美味しい飲み方等の魅力について理解を深めることができ、今後の取り扱いに向けて検討するよい機会**となったとの意見が聞かれた。
- イベントに参加した酒類小売店(ラスベガスを中心に10店舗以上を展開)からは、**今後の泡盛導入に向けて前向きに検討したい**として、**イベント実施に協力した卸業者との間で今後も検討を進めること**となった。
- **沖縄復帰50周年を迎える年に泡盛の魅力を発信し、機運を高めることができた**。

## バイエリアにおける泡盛の輸出促進に向けたプロモーション事業の実施 【在サンフランシスコ総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年1月30日(月)
- 実施場所: カリフォルニア州サウサリート市内
- 訴求対象: レストラン、バー、小売店及び卸業関係者
- 開催規模: 23名

### 概要



- 輸出拡大のポテンシャルが大きいと考えられるサンフランシスコ及び周辺ベイエリア等を拠点とする、**バー、レストラン、小売店及び卸業関係者を対象に、泡盛の魅力伝えるPR事業を実施。**
- サンフランシスコで活躍する著名なミクソロジストを招き、**泡盛を使ったカクテルの作成、試飲及び参加者とのディスカッション**を実施。
- アルコール度数24%と44%の泡盛それぞれを使用した、**泡盛の特徴を活かしたカクテルが参加者にふるまわれ、参加者とミクソロジストの間では活発な意見交換が行われた。**
- また、伝統的な泡盛の熟成方法や古酒についても紹介。

### 効果



- 参加者からは、**泡盛そのものだけでなく、カクテルベースでの利用も追及したユニークなアプローチだったと好意的な意見**が聞かれた。
- イベント実施後のアンケートでは、**回答者全てが満足度評価で5段階中5点満点と評価しているほか、今後の泡盛の導入に関しても、全員が「確実に導入したい」と回答。**
- イベントをきっかけに、**具体的な商談にも発展。**

日時等

Hosted by the Consulate General of Japan in SF

**Consulate General of Japan in San Francisco**  
~ Railroads in Japan vs California - Differences and Future Prospects ~

Thank you very much for joining us today, and please wait a few more minutes before we begin.

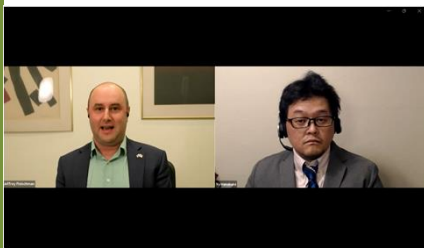
[Notice]

- For security purposes, we issue one webinar account URL per registration. Please do not forward this webinar URL.
- If you encounter any errors or inconveniences during this webinar, please contact: masanori.kawano@mofa.go.jp



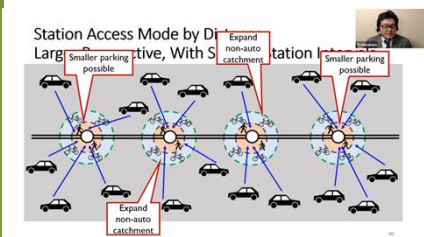
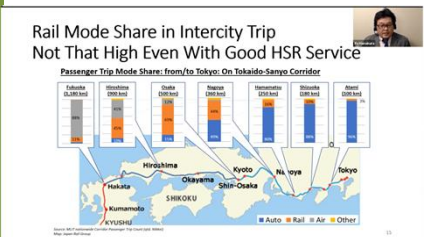
- 実施日時: 2023年3月9日(木)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: カリフォルニア州内の運輸政策担当官(州政府、地方自治体)、鉄道事業者その他の交通関係者等
- 開催規模: 35名

概要



- 2022年3月に富田大使とニューサム知事との間で署名した日本政府とカリフォルニア州政府の協力覚書(MOC)に基づく取組として、カリフォルニアにおける鉄道の利用促進に向けた我が国鉄道のベストプラクティスを共有するためのオンラインセミナーを開催。
- 我が国とカリフォルニアの両方の鉄道に詳しい日本人専門家・花倉雄氏より、我が国の鉄道からカリフォルニアの鉄道に活かし得る点をまとめ、講演を実施。
- 参加者の関心に則した講演内容となり、セミナー途中での退席者はほとんどなく、質問も多く寄せられた。
- オンラインで実施したことにより、州内の様々な地域の鉄道事業者等に訴求。

効果



- 我が国鉄道への理解を深め、我が国鉄道への関心を高める数少ない機会を創出。
- カリフォルニア運輸省から、今後の政策立案の参考情報として講演資料の提供を求められるなど、現地における今後の鉄道事業の中長期的な計画策定や施策立案に資するものとなった。
- 翌週に訪日するオミシャキン・カリフォルニア州運輸長官らの参加を得たことで、我が国の鉄道への理解を深める上で効果的なタイミングでインプット。

## 日時等



- 実施日時: 2023年 2月 8日(水)
- 実施場所: カリフォルニア州サンフランシスコ市
- 訴求対象: 米国テック企業関係者、投資家、スタートアップ関係者等
- 開催規模: 約160名

## 概要



- テクノロジー業界において、Web3／メタバースの市場拡大、セクター横断的な技術活用等が進んでいることを踏まえ、米国テック企業関係者や投資家等に対し、サンフランシスコ・ベイエリアで活動する**日本企業やスタートアップ代表の先進的な取組等について認知度・プレゼンスを向上させ、大企業とスタートアップの同分野における協力を検討する機会**を創出。
- 野口総領事挨拶の後、**ベイエリアの日本人起業家や日本市場に展開する米国スタートアップ5社、及び同分野に先行投資する日本の大手企業4社によるパネルディスカッション**、有識者によるファイヤーサイドチャット等が行われ、活況を呈した。
- 休憩時間には、ベイエリア中心に世界的に活動する日本人女性ドラマーYOYOKAがライブ演奏を披露。

## 効果



- 参加者アンケートでは、10点満点の満足度で、7点以上とした者が8割を超えた。また、今後スタートアップのユースケースを更に知りたいとの声も多く、**日本企業の取組への関心や理解度の向上に繋がった。**
- 日本企業のベイエリアにおける取組や日本市場におけるポテンシャル等が、**米国ビジネス関係者に今後更に浸透することを期待。**

日時等



- 実施日時: 2022年7月12日(火)
- 実施場所: サンフランシスコ市内
- 訴求対象: 日本文化に興味のある一般消費者及びインフルエンサー
- 開催規模: 約80名

概要



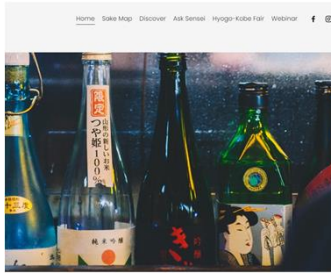
- 現地の一般消費者やインフルエンサーに対し、**日本の伝統的な製法で作られた木桶仕込み醤油をPR**するイベントを開催。
- 日本から訪米した**木桶仕込み醤油蔵の代表者3名をプレゼンター**として迎え、**木桶仕込み醤油の歴史や味の魅力について説明**するとともに、参加者との活発な質疑応答が行われた。
- また、白たまり醤油を使用したドレッシングとサラダ、3種の醤油による刺身(赤身と白身)の食べ比べ等が行われ、参加者は**試食を通して木桶仕込み醤油の魅力**を理解することができた。
- 加えて、イベント会場には**日系企業支援として現地に拠点を持つ飲料メーカーのPRブース**を設置し、日系企業のプレゼンス向上に繋がった。

効果



- イベント後に実施したアンケートでは、**回答者の9割以上が満足した(10点満点中8点以上)と回答**。また、参加者のほとんどは木桶仕込み醤油について知らなかったものの、**回答者全員がイベントの参加により今後の購入を検討したいと回答**。今後、木桶醤油の米国に向けた輸出拡大に繋がることが期待できるイベントとなった。
- また、イベントに参加したインフルエンサーは、各自のSNSに**イベントの状況を投稿**しており、**イベント参加者以外にも木桶仕込み醤油の魅力**を訴求できた。

## 日時等



- 実施日時: 2022年6月1日~2023年3月31日
- 実施場所: ワシントン州シアトル市近郊及びオンライン
- 訴求対象: シアトル市近郊の一般消費者
- 開催規模: 約19万5千人(SNSの投稿の最大閲覧者数)

## 概要



- ワシントン州内の日本酒の認知度及び消費量の拡大を目指し、現地の著名なシェフ(Mutsuko Soma氏)、日本酒スペシャリスト(Marcus V Pakiser氏)の監修によって**ワシントン州に特化した日本酒情報サイト**と各種SNSを構築・運用。
- さらに、シアトルで入手できる食材を使った日本酒に合うおつまみのクッキングウェビナーを開催したほか、11月6~22日にかけて、**シアトル神戸姉妹都市提携65周年記念事業とタイアップ**し、シアトル市内の日系レストラン11店舗で神戸・兵庫フードフェアを開催し、**利き酒セット等で日本酒を一般消費者に訴求**。
- レストランフェアでは**兵庫県庁・神戸市役所共催**で**シアトル市内の日系スーパーでの物産フェアとの相互広報**やクーポン配布等を通じた連携を実施。

## 効果

- オンラインを通じたプロモーションにおいては、インフルエンサーも活用することで、最大**約19万5千の閲覧者数を獲得**するなど、**幅広い一般消費者層への訴求**を達成することができた。
- クッキングウェビナーについては、88名が参加し、事後アンケート調査においては**95%の参加者が「満足」と回答**。
- レストランフェアについては、協賛レストランのうち80%が「顧客が満足していた」と回答。「酒蔵等とのコネクションが形成できた」、「プロモーションによる反響が絶大だった」等の意見も上がった。

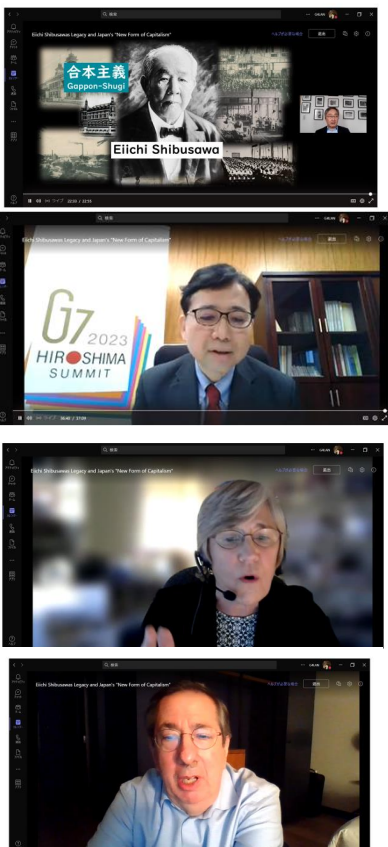
日時等



概要



効果



- 実施日時：2023年2月1日(水)
- 実施場所：オンライン
- 訴求対象：現地の企業、日系人、一般市民等
- 開催規模：約140名(事前登録は約200名)

- 渋澤健氏より、渋澤栄一氏の社会改革、論語とそろばん、合本主義について説明がなされるとともに、その哲学が現在の岸田政権の新しい資本主義にも反映されていることについて説明。
- **四方敬之内閣広報官から岸田政権の新しい資本主義について説明**があった後、パネリストのアンチョルドギー・ワシントン大学教授、カツ・シニア・フェローから、現在の日本経済の状況分析、岸田政権の経済政策、労働市場の問題点等についてコメントがなされた。また、**日本の企業文化の変化、若い起業家の出現についての紹介があり、ワシントン州を中心とした人的交流・協力促進の重要性が指摘**された。

- 日米協会及びシアトル総領事館による事前広報が功を奏し、ワシントン州内外から約200名が事前登録し、約140名が実際に参加した。**日米協会主催ウェビナーとして過去最大規模のもの**となった。
- ウェビナー参加者に対し、日本の経済状況および日本政府の経済政策に対する理解を深める機会を提供した。パネリストによる熱意のこもった議論に対し、参加者から高く評価され、個別の論点について、より理解を深める機会を得たいとの期待が寄せられた。
- **ワシントン州日米協会100周年事業の一環として実施したが、パネルディスカッションによって日米の新しい世代の起業家の交流促進の重要性を再認識する良い契機**となった。
- 事後の満足度のアンケート結果では、5段階評価で「4.5」と高い評価を得ており、**今後同様のイベントに参加したいとの回答が98%**だった。



# 農業者交流セミナー(持続可能な農業)

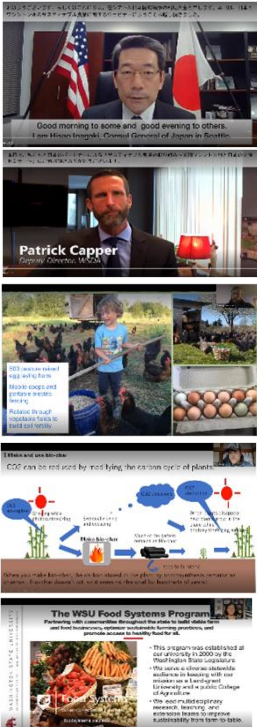
【在シアトル総領事館】

## 日時等



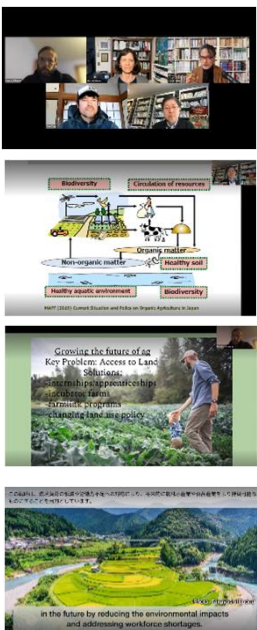
- 実施日時: 2023年1月24日(火)
- 実施場所: オンライン
- 訴求対象: 日米の農業関係者、一般消費者
- 開催規模: 282名  
(リアルタイム参加者数: 128名、見逃し配信視聴数: 154名)

## 概要



- 日本人米国農業研修プログラム等、数十年に及ぶ農業交流が続く日本とワシントン州の間で、全世界的な課題である持続可能な農産物と供給についてのウェビナーを開催。
- 稲垣総領事、パトリック・ケイパーワシントン州農務局副長官からのウェルカムメッセージの後、日米の農業ビジネスを牽引する農業従事者や研究者4名から持続可能な農業の実現に向けた現場の取組を紹介。
- その後、登壇者4名によるパネルディスカッションを実施し、日米での持続可能な農業についての異なる手法や考え方、人材育成などについて活発な議論を交わした。

## 効果



- 視聴者アンケート結果の結果、大変満足・満足という回答は94%、類似イベントにまた参加したいという回答は98%に達した。
- 農業従事者と研究者双方を起用したことから、日米の持続可能な農業の全体像と現場での実際の取組の双方を知ることができたという意見や、日米の農家の実際の声を聞くことで意識が変わったという声が寄せられた。
- 日米のみならず、カナダ、オランダ、フランス、インドネシア、フィリピン、パキスタン、マレーシア等複数の国からの参加者を獲得。様々な国に日本の持続可能な農業に関する取組を発信することができた。

# 34 「防災とテクノロジー」セミナー

(Disaster Preparedness and Digital Technology Seminar) 【在シアトル総領事館】

## 日時等



- 実施日時：2022年12月6日(火)
- 実施場所：ワシントン州レントン市
- 訴求対象：現地企業・自治体関係者、一般市民等
- 開催規模：60名

## 概要



- ワシントン州はかねてから大地震と沿岸部での甚大な津波被害が予測されており、最新の研究により、シアトル中心部でも地震発生から数分後に津波が到達するおそれが指摘され、災害への対策を求める声が高まり、防災への関心が高い。そのシアトルにおいて、長年の経験からの**日本の防災に関する技術と知見を共有**した。
- シアトル市緊急管理室長により同市の防災の取組と課題が紹介された後、日本企業及び研究者による日本の優れた**デジタル防災技術や最近の防災研究の成果**についてのプレゼンテーションが行われた。その後の質疑応答では、各発表の内容に対する具体的な質問が相次いだ。

## 効果



- 日本と同じく地震や津波への警戒心が強く、防災への関心が高いシアトルにおいて、防災分野における**日本企業の優良事例や技術、知見を現地の企業関係者、自治体関係者、一般市民等に広く共有**することで、米国のパートナーとしての日本の姿を発信することができた。
- セミナー後のレセプションでは、これら**日本企業の関係者**と、現地の災害対策関係機関関係者等をはじめとする、**現地の政財界の有力者、有識者の間の人脈構築を図ることができた。**
- 参加者のアンケート結果では、5段階評価で「4.4」と高い評価を得ており、**今後同様のイベントに参加したいとの回答が95.6%**となった。また、今回初めて総領事館主催のイベントに参加した人が全体の半数を超え、**既存のコミュニティ以外の人々に訴求することができた。**

## 経済・文化イベント「Rhythm of Japan in North Dakota: Celebrating the friendship of North Dakota and Japan」

【在シカゴ総領事館】

### 日時等



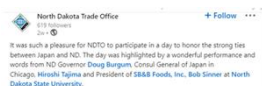
- 実施日時: 2022年9月24日(土)
- 実施場所: ノースダコタ州ファーゴ市
- 訴求対象: 州知事、州政府関係者、地元ビジネス関係者、教育機関、日系企業関係者、一般市民
- 開催規模: 約200名(全行程)

### 概要



- 州最大都市ファーゴ市において、今回初めて一般市民を対象に、大規模な日ノースダコタの経済・文化的繋がり及び日本文化を紹介するイベントを行い、約180名が参加した。
- バーガム州知事挨拶の中では**9月に州政府と米州住友商事で締結された脱炭素分野における連携に関する覚書の締結について発表**され、続いて米州住友商事副社長の挨拶が行われた。
- 地元の大豆集荷・販売企業であるSB&B Foods, Inc.、田島シカゴ総領事、JOIコーディネーターによるプレゼンテーション及び司太鼓による和太鼓文化の紹介及び公演が行われ、**経済と文化の両面から日・ノースダコタのパートナーシップや将来の協力の可能性について幅広く発信を行った。**

### 効果



- 州知事は選挙前の多忙な時期にもかかわらず、イベントの最初から最後まで出席した。
- 10月の知事訪日に向け、幅広い層に対し、日本への関心を喚起することができた。
- イベント終了後、田島シカゴ総領事及び根本JETROシカゴ所長は10月の訪日を控えた州知事との面会を行い、**知事に対し、エネルギー政策、デジタル田園都市国家構想等、日ノースダコタに共通する課題に関連する現在の日本の政策についての説明及び意見交換を行った。**
- ノースダコタ州貿易事務所はSNSで今回のイベントの様子及び日ノースダコタの強固なパートナーシップについて発信した。

36

# シカゴ・グルメにおける和牛・日本酒プロモーション

## 【在シカゴ総領事館】

### 日時等



- 2022年9月24日(土)–10月4日(火)イリノイ州シカゴ市
- 実施場所①9/24 ミレニアム・パーク特設会場  
②9/30「konbini & Kanpai」(当地日本酒販売店)  
③10/4公邸(レストラン)
- 訴求対象:インフルエンサー・メディア,飲食業関係者、ディストリビューター,当地富裕層を含む一般市民
- 開催規模:①1200名、②100名、③45名

### 概要

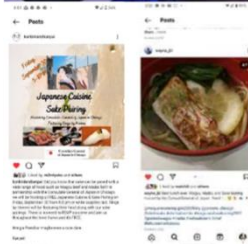


- 「シカゴ・グルメ」(毎年秋に開催されるシカゴ最大のフードイベントのメインイベント(Grand Cru)で、当地富裕層・飲食業界関係者らに向けて**日本産和牛、日本酒**のプロモーションを実施。当地を代表する有名和食シェフの逢坂久信氏及びジーン加藤氏(日系人)と協力。
- 公邸では逢坂シェフと公邸料理人が協力し、業界インフルエンサー及びメディア向けに、**日本産和牛・日本酒に加え真鯛のプロモーションも実施**。食材の特徴や調理例などのレクチャー及び調理実演を実施し、流通促進を後押し。
- さらに、日本酒に関心のある一般市民向けに和食と酒のペアリング・イベントを当地日本酒販売店で実施。

### 効果



- 「シカゴ・グルメ」メインイベントで、**グルメ志向の高い富裕層や業界関係者に和牛・酒の魅力を発信**。
- 和牛に関心を示した**五つ星ホテルや世界的有名ステーキレストランのシェフ、当地精肉卸売業者等にディストリビューターを紹介**。シカゴ副市長(ビジネス担当)も試食。
- 公邸では、和牛だけでなく、認知度の低い**真鯛も大変好評**。参加者からSNS等でシェアされたほか、**当地ホテル・オーナーがホテル・レストランで和牛・真鯛を提供する意向を表明**。
- 日本酒販売店では、特に、**ヘルシー志向の高い Urban Life Styleの消費者に真鯛が訴求力を持つことを確認**
- イベントを通じ、インフルエンサー、一般消費者、飲食業関係者に**日本産和牛・真鯛・酒の魅力を発信**。



37

# 草の根キャラバン カンザス州サライナ市、トピカ市

【在シカゴ総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2022年7月13日(水)
- 実施場所: カンザス州サライナ市、トピカ市
- 訴求対象: 州知事、州政府関係者、議会関係者、市関係者、日系企業関係者等
- 開催規模: 約60名(全行程)

## 概要



- カンザス州サライナ市のGreat Plains Manufacturing, Inc. (株式会社クボタの子会社)をサライナ市長、アビリン市長、州議会議員、連邦議員事務所関係者、州商務局と共に訪問し、田島総領事、JETROシカゴ、同社によるプレゼンテーション、意見交換、工場視察を実施。
- トピカ市において、パナソニックEV電池新工場建設に関する記者会見及びカンザス州及びパナソニック・エナジー関係者による祝賀夕食会に出席し、州知事及びパナソニック・エナジー・オブ・ノースアメリカ社長等と意見交換を行った。

## 効果



- **カンザス州で初めて草の根キャラバンを実施することができた。**訪問したGreat Plains Manufacturing, Inc.のカンザス州における投資拡大の順調な進捗や州政府や地元市長が同社に寄せる期待を参加者と共に確認し、**日系企業の貢献を発信することができた。**
- 同日に開催されたパナソニックの投資に関する記者会見や祝賀夕食会においても、州知事を含む州政府関係者、パナソニック関係者と共に同州史上最大の経済開発プロジェクトとなる本投資について両者の強い意気込みや連携状況を確認することができた。また、新たな人脈を構築する絶好の機会となった。

日時等



IRIS USA社視察①

- 実施日時: 2022年5月11日(水)
- 実施場所: ウィスコンシン州プレザント・プレーリー村、ミルウォーキー市
- 訴求対象: 州政府関係者、州議会議員、郡関係者、地元ビジネス関係者、教育機関、日系企業関係者
- 開催規模: 約100名(全行程)

概要



IRIS USA社視察②



コマツ・マイニング社視察



地元企業との意見交換

- プレザント・プレーリー村において拡張中の**IRIS USAウィスコンシン工場**(アイリス・オーヤマの子会社)を**州経済開発局関係者、州議会議員**他と共に視察。
- ミルウォーキー市において、移転新設予定の**コマツ・マイニング(小松製作所子会社)新工場**を**州経済開発局関係者**他と共に視察。
- ミルウォーキー市において、地元企業**ロックウェル・オートメーション社**の幹部と意見交換。その後、同社にて**州政府関係者、州議会議員、地元ビジネスリーダー**及び**日系企業**を招いたレセプションを開催し、約70名が参加した。
- ミルウォーキー市において、**州政府、州議会議員、教育機関、姉妹都市関係者**及び**日系企業**約20名を招いた夕食会を開催。

効果



レセプションの様子①



レセプションの様子②

- ウィスコンシン州では今回が2度目のキャラバン実施となった。**同州で工場拡張や本社工場移転を進める日系企業**を**州政府関係者、州議会議員、地元経済開発公社**とともに視察し、昨今の**日系企業による現地経済貢献を発信する機会**となった。
- 併せて開催したレセプションや夕食会においても、州政府関係者、地方自治体関係者、地元ビジネス関係者、教育機関、姉妹都市委員会を含む多くの米国人に**日ウィスコンシン間の強固な貿易・投資関係**や**日系企業の地域への貢献**についての理解を深めてもらい、地元コミュニティとの新たな人脈を構築する機会となった。

39

## 草の根キャラバン ウィスコンシン州マディソン市

【在シカゴ総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2022年9月19日(月)
- 実施場所: ウィスコンシン州マディソン市
- 訴求対象: 州政府関係者、マディソン市長、地元ビジネス関係者、教育機関、日系企業関係者
- 開催規模: 約80名(全行程)

### 概要



- マディソン市においてFCDI(フジフィルムの子会社)を州経済開発局幹部と共に訪問し同施設を視察。
- ウィスコンシン大学マディソン校において、**州政府関係者、マディソン市長、大学関係者、姉妹都市関係者、ウィスコンシンに拠点を置く米国企業及び日系企業を招いた昼食会及び「ウィスコンシン・日本バイオヘルス・サミット」を開催し、約70名が参加した。**
- バイオヘルス・サミットでは、フジフィルム他、日本と結びつきのあるウィスコンシン州の企業が各社の事業内容についてプレゼンテーションし、**バイオヘルス分野での日本とのパートナーシップや将来の協力の可能性について発信した。**

### 効果



- **州都マディソン市で今回初めてのキャラバンを実施。**同日は州政府関係者ととともにFCDIを視察し、**日系企業の地域への貢献や地元コミュニティとの強固な結びつきを発信する上で大変有益であった。**
- 同日開催した昼食会やバイオヘルス・サミットでは、州政府関係者、マディソン市長、地元ビジネス関係者、教育機関、姉妹都市委員会を含む多くの方々に日ウィスコンシン間の強固な経済・文化関係やバイオヘルス分野での連携につき発信することができた。
- マディソン市長は今回のイベントの様子をSNSで発信。またWisconsin Technology Councilはニュース・リリースにおいて今回のサミットの様子について報じた。

## 日時等

MAY 31  
TO  
JUNE 3,  
2022  
GRAND HOTEL  
MACKINAC ISLAND

- 実施日時: 2022年5月31日(火)～6月3日(金)
- 実施場所: ミシガン州マキノー島グランドホテル
- 訴求対象: 連邦運輸長官・議員、州知事・議員・政府、自治体、企業・経済団体幹部
- 開催規模: 約1,300名

## 概要



会場の様子①



会場の様子②



会場の様子③

- デトロイト地域商工会議所が主催する、**ミシガン州の政・財・学等各界の有力者が一堂に会するマキノー政策会議**に総領事が参加。
- ミシガン州の課題に関する様々なテーマについて議論を行うと共に、参加者間のネットワーキングを促進。
- 本年の会議の基本テーマは「**分断化が進む中での変化するビジネス界の役割**」。多様性推進、公開の議論における礼儀正しさや事実の活用、共感の文化の構築、米国民主義の基本原則の主張等についてミシガン州のビジネス界が模範を示すことができるかを議論。
- 例年の**州知事出席に加え、ブティージェッジ運輸長官が出席**。

## 効果

ブティージェッジ  
運輸長官ホイトマー  
ミシガン州知事

- 運輸長官・州知事、ミシガン州選出連邦上院議員、ミシガン州政府経済当局など、**州・連邦政府の有力者が参加し、総領事館とこうした関係者とのネットワーキングのきっかけとなる会議**となった。
- 政治面では「分断」についての議論、本年秋に控えた知事選挙候補者の討論会や、経済面ではミシガンの経済発展のための方策、とりわけ**電気自動車化への対応、人材開発等について議論**された。
- サイドイベントを含め、人材開発についての議論が活発に実施され、その中で、**人材確保、人材開発が企業にとって深刻な課題**になっていることが示唆されると共に、これが**将来の発展の鍵であること**を官民ともに理解していることが看取された。



# 日系企業のミシガン州経済・雇用への貢献や課題の共有等 を行うラウンドテーブル 【在デトロイト総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年3月3日(金)
- 実施場所: ミシガン州ファーミントンヒルズ市  
北米日産テクニカルセンター
- 訴求対象: 州政府・自治体・経済開発公社等
- 開催規模: 約60人

## 概要



- 1,000人規模の研究開発施設である**北米日産テクニカルセンター**及び日本貿易振興機構(JETRO)シカゴ事務所と協力し、州政府・自治体等を招いた**日・ミシガン経済交流イベント**を開催。
- 会議のプログラムでは、進藤総領事及びJETRO根本所長の日米経済に関するスピーチに続き、**メッサー・ミシガン州経済開発公社総裁、クラウド・デトロイト地域経済開発公社総裁、コールター・オークランド郡長及びバーネット・ファーミントンヒルズ市長**からメッセージをいただいた。
- **リード・北米日産上級副社長**によるプレゼンテーションの後、新規拡張施設「**セーフティ・アドバンスメント・ラボ**」の見学会、**ネットワーキング昼食会**を実施。

## 効果



- イベントには上記要人を含む**約60名**が参加した。北米日産をはじめとする州内及び同地域における**日系企業の事業の拡大、雇用創出、地域への貢献等の状況が共有され、関係構築の重要性を示すことができた。**
- **メッサー総裁、ホイトマー州知事**からデトロイト総領事館、JETRO及び北米日産に対して**日・ミシガン州の良好な関係に対する感謝の意**が伝えられた。
- 出席者へのアンケートでは、イベントの満足度並びに日系企業への理解度及び好感度のいずれも**平均4.5/5以上の評価**が得られ、今後の同種イベントへの参加希望や好意的なコメントが寄せられた。

## 日時等



Mayors Association of Ohio

2022 Annual Conference  
Marriott NW, Dublin

June 8 & 9, 2022

- 2022年6月8日(水)
- 実施場所:オハイオ州ダブリン市マリオットホテル
- 訴求対象:オハイオ各市町村長、経済開発公社等
- 開催規模:100名以上

## 概要



- オハイオ市長会の年次総会において、**マイク・バーホースト市長会長**及び日本貿易振興機構(JETRO)シカゴ事務所と協力し、**朝食会及びパネルディスカッション**を実施。
- 朝食会では、**ロビン・オダ・トロイ市長**から、岡山県高梁市との姉妹都市交流、ホンダを始めとする進出日系企業等について紹介。**デイビッド・スケフラー・ランカスター市長**から、昨年の日系企業誘致の成功事例について紹介。
- パネルディスカッションでは、**J.P.ナシーフJobsOhio(オハイオ州経済開発公社)総裁**によるプレゼンテーション、ラルフ・インフォルザートJETROシカゴ事務所長等とともに日・オハイオ州経済関係の重要性につき議論。

## 効果



- 朝食会には**12名の市町村長を含む約25名**が参加。日系企業進出や、姉妹都市交流、学生交流等を含む自治体レベルの関係構築の重要性が共有された。
- パネルディスカッションには**各市町村長を始め100名以上が聴講**。ナシーフ総裁のプレゼンテーションでは**オハイオ州への投資国で日本が1位であることを強調**。日本への感謝が示され、会場からは大きな拍手があった。
- 同州にサプライチェーンが集中する自動車産業の変革や、同州へのインテル進出等の大きな環境変化の中で、**更なる日・オハイオ州経済関係強化への期待**が示された。

日時等



- 2022年9月18日(日)
- 実施場所: ミシガン州サギノー市サギノー日本文化センター
- 訴求対象: サギノー市及び周辺地区の一般市民(市、市議会関係者等を含む)
- 開催規模: 400名

概要



- 本格的茶室と日本庭園を会場とする、総合的な日本文化紹介をテーマとした祭り
- 会場の茶室と日本庭園は、**1961年から姉妹都市関係**にある徳島県徳島市とミシガン州サギノー市によって1985年に建設、サギノー日本文化センターが管理・運営
- 当館ブースでの日本文化紹介、茶道レクチャー・デモンストレーション、生け花展示、和太鼓・琴演奏、剣道デモンストレーション、書道・折り紙コーナー等を実施

効果



- 当館所在地から遠方にある小規模都市で、日系企業等も少なく、日本文化に触れる機会が限定的である中、市や市議会関係者を含め、**幅広い一般市民に対して、対日理解促進に資する日本文化紹介**を行えた。
- 初めて参加した者の割合が高く(アンケート回答者の50%)、これまで**日本文化に関心を有していなかった層にもアウトリーチ**できた。
- **イベント満足度**の平均値は5段階中「**4.8**」という結果であった。

## ノバイ日本祭りにおける日本文化紹介(在外公館文化事業・共催) 【在デトロイト総領事館】

### 日時等



- 2022年10月2日(日)
- 実施場所: ミシガン州ノバイ市ノバイ高校
- 訴求対象: ミシガン州ノバイ市及び周辺地区の一般市民
- 開催規模: 150名(日本祭り全体は2,000名ほど)

### 概要



- ノバイ日本祭りは多数の地元米国人及び在留法人が訪れる**ミシガン州最大の日本文化行事**
- 茶道、生け花、剣道、和太鼓、書道、折り紙等の日本文化紹介に加え、例年当館のみならず姉妹都市、留学関連等のブースを設けられ、**日米草の根交流に資する情報交換**が実施
- 今年度、当館は遊びと伝統工芸をテーマに、ちぎり絵、うちわ作り、玩具体験を実施

### 効果



- 幅広い客層に総合的に日本文化紹介、情報提供ができることから、**日本語学習、日本留学・JET、日系企業就職等に資する機会**となっている。
- 初参加者の割合が高く(アンケート回答者の60%)、**新しい層にもアウトリーチ**できた。
- **イベント満足度**の平均値は5段階中「**4.9**」という結果であった。

## 次世代日系人リーダーシップ育成に関する交流イベント (U40サミット)

【在デンバー総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2022年5月20日(金)～ 21日(土)
- 実施場所: コロラド州デンバー市サボイホテル及び在デンバー総領事公邸
- 訴求対象: 全米各地から参集した40代以下の次世代日系人リーダー候補者等
- 開催規模: 約50名

### 概要



- 米日カOUNシルロッキーマウンテン支部の協力の下、政界、ビジネス界及び学术界など幅広い分野で活躍する**全米各地の40代以下の次世代日系人リーダー候補者を対象に有識者による講演会及びパネルディスカッションを開催した。**
- 将来的な社会課題(ポストコロナの社会構築、デジタル、気候変動等)への対応やベストプラクティスを共有し、様々な分野での次世代日系人の社会進出とリーダーシップ強化を後押しする内容となった。
- デンバー総領事公邸でのレセプションを開催し、次世代日系人リーダー候補者と総領事館関係者との人的ネットワークを強化した。

### 効果



- **次世代日系人リーダーに焦点を当てた本事業を通じて、将来的な日米経済関係の維持・強化に寄与することができた。**
- ハリー・ハリス前駐韓米国大使、スザンヌ・バサラ米日カOUNシル会長等と共に三上総領事がパネリストとして出席し、また**デジタル田園都市国家構想を含む我が国のデジタル政策等に関する発信を行ったことで、我が国の重要政策への理解向上に繋がった。**
- レセプションの際に、日本食及び日本酒のプロモーションを行うことで、我が国の経済・文化への理解を深める上で有益であった。

## 日時等



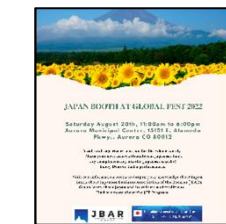
- 実施日時: 2022年8月19日(金)～20日(土)
- 実施場所: コロラド州オーロラ市
- 訴求対象: オーロラ市周辺の市民等
- 実施規模: 約8,000人強

## 概要



- コロラド州で開催された最大規模の市民交流文化イベント「グローバルフェスタ」において、ロッキーマウンテン日系企業会(JBAR)との連携の下、**日本の経済、観光、文化、ビジネス等を紹介する日本ブース及びJBAR参加企業による企業ブースを出展した。**
- 総領事館とオーロラ市共催の前日のレセプションでは、日本食の提供及び日本酒試飲によって、**日本食・日本酒のプロモーションの機会を設けることができた。**また、日系企業による企業ブース及び日本の観光に関するブースを出展すると共に、日本文化を紹介し、対日理解を促進するために、生け花展示と和太鼓演奏を行った。

## 効果



- オーロラ市からの依頼に応じてレセプションを共催し、また日本ブースを出展することで、**オーロラ市長をはじめ同市幹部との関係構築の観点から極めて有意義なイベントとなった。**
- **日本ブースには1,050名が来訪し、日本文化体験コーナーで予め準備した手作りのうちわ250枚が、全て持ち帰られるほどの盛況ぶりだった。**
- オーロラ市在住の要人から、同市が世界・全米に誇る多様性に焦点を当て、**日本が主導的な役割を果たしてグローバル・フェスタに協力した点を高く評価された。**

日時等



- 実施日時: 2023年3月2日(木)
- 実施場所: ワイオミング州ララミー市
- 訴求対象: ワイオミング州でのビジネス及び日米間のビジネス連携に関心を持つワイオミング州企業関係者及び日系企業関係者並びに州当局関係者
- 開催規模: 33名(オンライン参加者数は13名)

概要



- ワイオミング大学、JETROサンフランシスコ事務所との共催で、**ワイオミング州初のグラスルーツ事業として「日ワイオミングビジネスフォーラム」を開催。**
- JETROから日ワイオミング経済関係、直接投資への支援、クリーンテック分野での協力強化等に関するプレゼンがあった後、ワイオミングで日系企業との協力案件に取り組んでいるITCやワイオミングエネルギー機構関係者等からの発表や、日系企業関係者によるワイオミングの観光資源の魅力等に関する発表があり、質疑応答を通じて、活発な意見交換が行われた。さらに対面出席者の交流セッションも開催した。

効果



- 日ワイオミング双方の関係者が、**ワイオミングのビジネス・投資環境に関する理解を深めつつ、相互のビジネス関係拡大に向けた機運を醸成し、日ワイオミング経済関係強化に寄与する取組を実施することができた。**
- 日ワイオミング双方の出席者間の交流を通じて、**相互の関係構築及び日ワイオミングにおける将来的なビジネス発掘の機会創出を促す上でも、大いに有意義な機会となった。**
- 本件フォーラムの開催について、**ゴードン・ワイオミング州知事をはじめとするワイオミング州の要路から極めて高い評価を頂いた。**

## グラスルーツからの日米経済関係強化(日ユタビジネス投資セミナー) 【在デンバー総領事館】

### 日時等



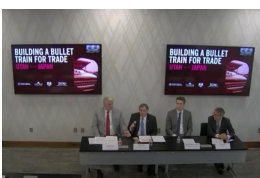
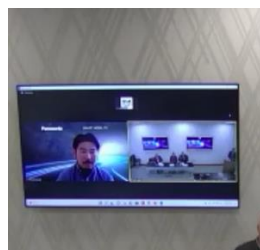
- 実施日時: 2022年11月15日(火)
- 実施場所: ユタ州ソルトレイクシティ市
- 訴求対象: ユタ州でのビジネス及び日米間のビジネス連携に関心を持つユタ地元企業関係者、日系企業関係者及び州当局関係者
- 開催規模: 約140名

### 概要



- ワールドトレードセンターユタとの共催の下、JETROロサンゼルス事務所及びユタ州政府関連機関の協力を得て、近年経済成長が著しいユタ州でのビジネス投資環境に関する情報を在米日系企業に提供することや、地元企業の対日投資を促進することを目的として、ハイブリッド形式で日ユタビジネス投資セミナーを開催した。
- ユタ州側からビジネス投資環境について説明があり、またJETROロサンゼルス事務所からは日系企業進出支援及び対日投資支援について説明があった。更に、ユタ州内の日系企業及び日本で事業を展開しているユタ州地元企業関係者によるパネルディスカッションを行うとともに、セミナー参加者の交流を目的としたセッションも実施した。

### 効果



- ユタ州の経済的潜在性、ビジネス及び投資環境に関する日系企業関係者の理解を深めることで、日ユタ経済関係の強化に寄与することができた。
- セミナー終了後に開催された交流会には、約140名の日系企業関係者及び地元企業関係者が参加し、相互の関係構築及び将来的な日ユタ双方向のビジネス投資の拡大を促進する上で有意義な場となった。
- 総領事館から、パネリストとして参加した州政府高官にフォローアップを行ったところ、「大成功だった」「セミナー後にネットワーキングできたことも重要であった」「毎年このようなイベントが開催されることを期待している」等の高評価を確認した。



## 日時等



- 実施日時: 2022年6月15日(水)
- 実施場所: ケンタッキー州レキシントン市
- 訴求対象: 招待客(ホテル・レストランシェフ・食品関係業者等)約40名
- 開催規模: 地元関係者(SNS広報は世界中の人々)

## 概要



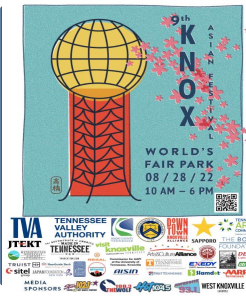
- 日本産和牛販売業者WAGYUMANから、日本産和牛について説明。日本産和牛は、長い時間をかけて品種改良されてきた黒毛和種などの4品種と、それらの交雑種のみであること、日本の和牛の脂肪が溶ける温度は、他国産牛肉と比較して低い30℃くらいであり、ちょうど口の中の温度で溶ける、**日本産和牛の脂はコレステロールや中性脂肪を防ぐ効果がある**ことなど日本産和牛と米国産和牛の違いについて説明。参加者は熱心に耳を傾けていた。
- ビームサントリーから今後、さらに促進したい日本産ウイスキーについて、味・香りなどを説明。同州は米国内における一大バーボンウイスキーの生産地であり、数多くの蒸留所が所在しているが、**ビームサントリー社は、同州においてジムビーム及びメーカーズマークを傘下に置いていることから、参加者にとっては馴染みのある地元の日系企業**であり、参加者は**3種類の和牛料理のペアリング(岩手県産和牛×六(ROKU)、茨城県産(常陸牛)×リージェント(LEGENT)、鹿児島県産×季(TOKI))**を、イベント会場となった日本食レストランにおいて存分に楽しんでいた。

## 効果



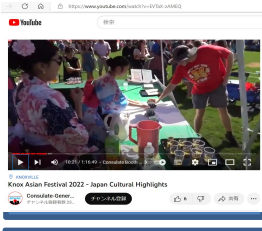
- バーボンウイスキーと農業の盛んな州であるケンタッキー州において、日本産ウイスキーと和牛の紹介イベントを実施したことはインパクトが大きい。
- イベントに参加した**農業局の貿易担当官及び州の畜産協会の幹部は、日本産和牛について、新たな理解を得る機会になったこと、ウイスキーと和牛のユニークなペアリングは印象的**であったとコメント。
- その他、レストラン経営者やシェフ、流通業者等も日本食文化への理解、日本と米国の和牛の違いなどを知り、今後の当地での仕入れやメニューの参考にしたいとコメント。**3県の産地の和牛は高評価**。

## 日時等



- 実施日時: 2022年8月28日(日)
- 実施場所: テネシー州ノックスビル市ワールド・フェア・パーク(約6万平米)「ノックスビル・アジアン・フェスティバル」開催会場内ブース(屋外)
- 訴求対象: 地域一般市民
- 開催規模: ブース来客想定数500~800名

## 概要

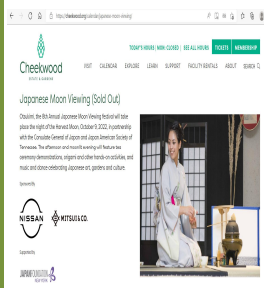


- 在ナッシュビル総領事館が管轄する地域の中で、大規模のフェスティバルである「ノックスビル・アジアン・フェスティバル」に、総領事館ブースを設置。**日本茶及び日本酒の説明**やデモンストレーションの後、**試飲会**を実施。
- **冷茶と日本酒を使ったカクテルのデモンストレーション**を通じ、夏の日本茶と日本酒の楽しみ方を紹介。
- 当フェスティバルには**複数の日系企業も参加**。また、JETプログラムのブースに隣接して試飲会を実施し、重層的な人的交流の場を創出。

## 効果

- 当日、**6万人の来場者**があり、総領事館のブースには**絶え間なく来客**があり、大盛況を博した。
- 来場者は、熱心な様子でデモンストレーションを見たり、日本酒の特徴や選び方など、館員からの説明に耳を傾けており、**多数の地域一般市民に対し、日本産食品を広報する好機**となった。
- 「情報量がとても多く有益だった」、「日本酒のカクテルがバリエーションに富んでおり、驚いた」等のコメントがあり、大変好評なコメントが多く寄せられた。
- また、連日30度を超える真夏日の中で、冷茶や日本酒カクテルを楽しみながら、館員との質疑応答や、試飲会参加者同士が交流した。日系企業も多く進出するノックスビル地域で、**草の根の交流を通じて、地域一般市民の対日理解、親日感情を高める機会**となった。

## 日時等



- 実施日時: 2022年10月9日(日)
- 実施場所: テネシー州ナッシュビル市チークウッド植物園(約22万平米)ビアガーデン広場
- 訴求対象: 日本文化に関心が高い一般市民
- 開催規模: 60名(事前申込み)

## 概要



- テネシー州内最大規模の日本文化総合紹介事業「チークウッドお月見祭り」において、**日本酒と和牛の説明、公邸料理人による調理デモンストレーション及び試飲、試食会**を実施。
- 事前登録で定員を絞ったイベントで、日本に関心が高い層に対し、質の高いA5ランク鹿児島黒毛和牛のストリップロイン部位を使い、ローストビーフの試食と和牛寿司と4種類の日本酒飲み比べの機会を提供。
- お祭りの数日前に、地元テレビ局の番組「Today in Nashville」内で、「お月見祭り」の紹介と合わせ、**公邸料理人が和牛寿司のデモンストレーションを行い、幅広い層にも和牛を紹介。**

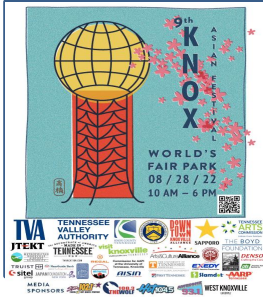
## 効果



- 事前登録が必要な日本文化総合紹介事業において、**日本に関心が高い親日、好日家及び食に関心が高い層**に対し、4種類の日本酒と和牛の特徴等の説明を交え、試飲及び試食を提供し、**日本産食品の認知度の向上と理解の促進**を図ることができた。
- イベント後のアンケートでは、回答者の97%が満足度が高いと回答。また、日本酒については91%が、和牛については全員が、友人や家族に強く薦めると回答した。限られた人数でのイベントでも、波及効果を期待できる結果となった。
- また、91%が同様のイベントに**今後も参加したい**と回答し、**草の根レベルでの対日理解を深化させていく足掛かり**となった。

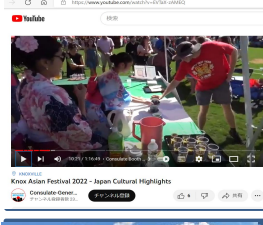
# ノックスビル・アジアン・フェスティバルにおける 日本茶・日本酒のPR 【在ナッシュビル総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2022年8月28日(日)
- 実施場所: テネシー州ノックスビル市ワールド・フェア・パーク(約6万平米)「ノックスビル・アジアン・フェスティバル」開催会場内ブース(屋外)
- 訴求対象: 地域一般市民
- 開催規模: ブース来客想定数500~800名

## 概要



- 在ナッシュビル総領事館が管轄する地域の中で、最大の文化事業である「**ノックスビル・アジアン・フェスティバル**」に、総領事館ブースを設置。**日本茶及び日本酒の説明やデモンストレーションの後、試飲会を実施。**
- 冷茶と日本酒を使ったカクテルのデモンストレーションを通じ、夏の日本茶と日本酒の楽しみ方を紹介。
- 当フェスティバルには**複数の日系企業も参加**。また、JETプログラムのブースに隣接して試飲会を実施し、重層的な人的交流の場を創出。

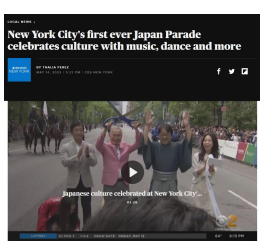
## 効果

- 当日、**6万人の来場者**があり、総領事館のブースには絶え間なく来客があり、大盛況を博した。
- 来場者は、熱心な様子でデモンストレーションを見たり、日本酒の特徴や選び方など、館員からの説明に耳を傾けており、**多数の地域一般市民に対し、日本産食品を広報する好機**となり今後の**輸出拡大につながる契機**となった。
- 「情報量がとても多く有益だった」、「日本酒のカクテルがバラエティに富んでおり、驚いた」等のコメントがあり、大変好評なコメントが多く寄せられた。
- また、連日30度を超える真夏日の中で、冷茶や日本酒カクテルを楽しみながら、館員との質疑応答や、試飲会参加者同士が交流した。日系企業も多く進出するノックスビル地域で、**草の根の交流を通じて、地域一般市民の対日理解、親日感情を高める機会**となった。

## 日時等



ジョージ・タケイ氏



CBSの報道

## 概要

- 実施日時: 2022年5月14日(土)
- 実施場所: ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象: ニューヨーク市一般市民
- 開催規模: 20,000人余

- 日米市民の交流促進、ニューヨークへの感謝の表意、日系コミュニティの連帯強化を目的にパレードを実施。
- **90団体、約2,400名**がセントラルパーク・ウェスト81丁目から68丁目にかけて練り歩き。太鼓、雅楽、神輿、踊りといった**伝統的な日本文化**からコスプレ、マスコット・キャラクター等の**現代的な文化**や柔道、空手、剣道等の**スポーツに至るまで、総合的な日本の魅力を紹介。**
- 日系人俳優でLGBTQ+等の人権活動家として米国社会において知名度が高い**ジョージ・タケイ氏がグランド・マーシャル**を務めた。
- アジア系及びウクライナ・コミュニティもパレードに参加。
- 来賓席としてグランドスタンドを設け、政治家、現地有識者・大学関係者、企業関係者、日米友好関係者等を招待。
- ラーメンやお好み焼き等のB級グルメをテーマとした**日本食を提供するストリートフェア**も実施。

## 効果

- 全米三大ネットワーク(ABC、CBS、NBC)、公共放送(PBS)、FOX及びNY1(ニューヨークの24時間ニュース放送局)等の多くのテレビ、ラジオ並びにオンラインニュースにてパレードの様子が報道。
- 多くの日系企業がスポンサーとなり、各所にロゴを掲載したところ、**20,000人を超える観客、上記報道等の効果により広告効果は大なるものとなった。**
- ニューヨークにおける**日本・日系コミュニティのプレゼンスを市内外の幅広い層に示す**とともに、アジア系やウクライナ・コミュニティとの連携・連帯を発信することができた。

## 日時等



- 実施時期: 2022年8月25日(木)
- 実施場所: ニューヨーク・メッツのホーム球場シティ・フィールド(ニューヨーク・メッツ対コロラド・ロッキーズ戦)
- 訴求対象: 総領事館管轄地域の米国人
- 開催規模: 参加者数(来場者数) 約40,000名

## 概要



- 冒頭に日米の野球交流や日本企業の貢献に関するプロモーション映像を球場内の大型スクリーンで放映。
- 続いて、ホームプレートセレモニー(森大使、吉井理人元ニューヨーク・メッツ投手(現千葉ロッテマリーンズ監督)が参加)を実施し、佐藤貢司日系人会会長、フルモト・タケシ氏(現地の有力日系米国人企業家)等も加わり、計6名が日米関係強化に尽力する代表的な人物として球場アナウンスで紹介。
- その後実施した始球式では侍ジャパンのユニフォームを着用した森大使がピッチャーとして投球し、吉井氏が捕球。

## 効果



- 本事業実施により、日米野球交流の観点から、広く米国の野球ファンに対し、日本企業の野球にまつわる多岐に亘る草の根レベルでの貢献を大々的に紹介でき、ひいては日米間の経済的繋がり的重要性を改めて認識させる機会となった。
- 特に、スタジアム建設等に関する日本企業の技術が米国の野球に貢献していることについて、約4万人の観客に映像で訴えることができた。
- また、当日の様子はテレビで中継された他、プレスにより大々的に報じられた。

## 日時等



- 実施時期: 2022年11月9日(水)
- 実施場所: コロンビア大学 Faculty House
- 訴求対象: 日米交流団体、MLB、日米企業関係者
- 開催規模: 参加者数 約130名
- 取材機会: 日米主要プレスによるペン、カメラ取材

## 概要



- 冒頭日米野球史150年を紹介するビデオを放映、森大使による挨拶の後、松井秀喜元ニューヨーク・ヤンキース選手が基調講演を実施。
- 日本企業の製品や技術が米国野球の現場で幅広く使われていることを紹介するプロモーション映像の上映とパネル展示を行い、多くの米国人来場者が観覧した。
- パネルディスカッションでは、米日カウンシルのスーザン・マコーマック氏が司会を務め、パネリストとして松井氏その他、マット・マートン元阪神タイガース選手、ブラッド・レフトン記者、ジョシュ・ラウィッチ野球殿堂博物館館長といった各界を代表する著名人が登壇。(※ランディ・バース元阪神タイガース選手のメッセージも紹介。)
- ディスカッションでは、松井氏やマートン氏がそれぞれ日米でプレーした際の逸話をもとに、野球が二国間関係や関連ビジネスに及ぼした好影響を議論。レフトン記者やラウィッチ館長は歴代日本人MLBプレーヤーの活躍を引き合いに両国野球の交流史を披露。

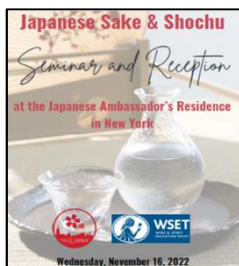
## 効果

- 本事業実施により、日米野球150年史が両国の野球選手・関係者や企業を相互に結びつけてきたことを現地の野球関係者、ビジネス関係者、日米団体に訴求できた。特に、スタジアム建設やIT技術といった日本企業の製品や技術が幅広く使われていること等について直接アピールすることができた。
- パネリストに日米の著名人が参加したことにより、邦人プレスのみならず、現地主要テレビ局からも取材され、幅広く報道された。

56

# 日本産酒類(日本酒・焼酎)に関する金融関係者向けセミナー 兼交流会 【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



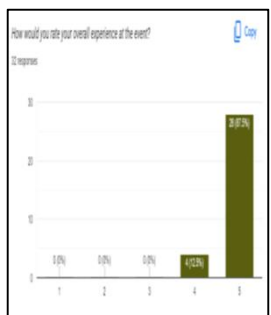
- 実施時期: 2022年11月16日(水)
- 実施場所: 在ニューヨーク総領事館・大使公邸
- 訴求対象: ニューヨークの金融関係者等
- 開催規模: 46名

## 概要



- ニューヨーク経済の中心に立ち、発信力が高い金融関係者に対して**日本酒・焼酎の魅力**を伝え、**認知度向上を目指す**とともに、金融関係者とのコミュニケーションの深化を図ることを目的に、セミナー兼交流会を開催。(新型コロナウイルスの規制緩和を受け、要望の高まっていたインパーソンの形式で開催。)
- セミナーでは、森ニューヨーク総領事(大使)の挨拶に続き、**世界最大級の酒類教育機関であるWine and Spirit Education**から、主に日本酒の多様な飲み方や食とのマッチングなどの魅力について説明。
- 交流会では、**複数の輸入・卸売業者によるブースを設置**し、自由に立ち寄り、試飲可能な形式で開催。**日本酒に加え**、州法の規制緩和により飲食・小売店での提供が容易となった**焼酎についてもPRを実施**。

## 効果

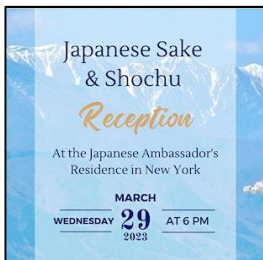


- アンケート結果からは、**イベントの満足度について、全ての回答者が5段階中4又は5と評価**(平均は4.9)。また、セミナーを通じた日本に対する印象の変化については、**回答者の97%が好印象(4又は5)を持った**と評価し、日本のイメージアップに貢献。
- また、自由記載欄では「**セミナー・交流会共に素晴らしかった**」、「**第1部でセミナー、第2部で交流会というイベント構成は良かった**」といった肯定的なコメントが多数寄せられた。
- 現地では、「**有意義なネットワーキングの機会であった**」との声も聞かれ、**インパーソン形式での交流会とした効果**がうかがわれた。



# 57 大使公邸での日本産酒類(日本酒・焼酎)レセプション 【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2023年3月29日(水) 18:00~20:00
- 実施場所: 在ニューヨーク総領事館・大使公邸
- 訴求対象: ニューヨークの金融関係者等
- 参加者: 63名(事前登録80名)

## 概要



森ニューヨーク総領事からの挨拶

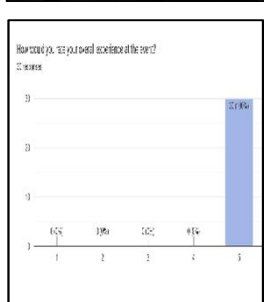
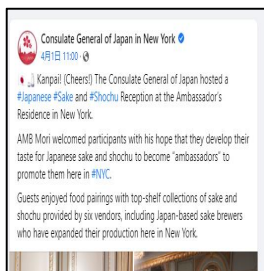


Tokio Marin America・魚返社長によるJapan Parade NYCのPRスピーチ



- ニューヨーク経済の中心に立ち、発信力が高い金融関係者等に対して**日本酒及び焼酎の魅力**をPRし、**一層の普及・振興**を図るとともに、**参加者とのコミュニケーションの深化**を目的とした**レセプション**を開催。
- レセプション開催に当たり、森ニューヨーク総領事(大使)の挨拶に続き、**関係者から5月に現地において開催予定のJapan Parade NYCのPRスピーチ**を実施した。
- レセプションでは、**現地の輸入業者(3社)と米国に拠点を有する日本の酒蔵(3社)**が出展し、会場に業者ごとのブースを設け、参加者が自由に立ち寄り、試飲可能な形式で開催。また、焼酎のPRのため、**焼酎の新たな飲み方として現地のバーテンダーが焼酎カクテル**を提供した。

## 効果



- アンケート結果からは、**イベントの満足度について、回答者全員が5段階中5と評価**。また、「日常生活において日本酒や焼酎を飲みたいと思うようになったか」という質問に対しては、回答者の約8割が5段階中4あるいは5をマークしたことから、**日本産酒類の普及・振興という目的に対して効果的**であった。
- 自由記載欄では、「**よく計画・アレンジされたイベントであった**」、「**ニューヨーク州内に新設された酒蔵を訪れたい**」といった、本イベント及び日本産酒類に対する肯定的なコメントが複数寄せられた。
- 現地では、「日本への投資を検討しているが、日本中心に投資を行う投資家コミュニティと意見交換することができ、非常に有意義であった」との声も聞かれ、**日本産酒類普及・振興以外の効果**も得られた。

# SAKURA COLLECTION 2022 FASHION DESIGN AWARD IN PHILADELPHIA

【在ニューヨーク総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2022年7月6日(水)
- 実施場所: アイロングートシアター(ペンシルバニア大学)
- 訴求対象: フィラデルフィア市近郊の米国人等
- 形式: 対面+デザインコンテストはWEB投票も実施
- 開催規模: 来場者**250名**(米国人約70%、日本人約30%)

## 概要



- 7組の若手デザイナーによる**遠州綿袖を使用したファッションデザインコンテスト及びショーを開催**。遠州綿袖の生産工程の動画やデザイナーによるプレゼンテーション、尺八と殺陣のパフォーマンスも披露。
- 目的は日本の伝統産業支援、海外認知度の向上、若手デザイナー育成、商品開発、米国市場開拓等。
- **一般社団法人SAKURACOLLECTION・在NY日本国総領事館・フィラデルフィア市・ペンシルベニア大学が共催**。
- 田畑則子氏((一社)SAKURACOLLECTION代表)、森総領事(大使)、**ジム・ケニー(フィラデルフィア市長)**、フレデリック・ディキンソン教授(ペンシルベニア大学東アジア研究センター長)が挨拶。
- 審査員にはエリサ・ブルーム氏(在フィラデルフィアのファッション実業家)、齋藤統氏(元イッセイミヤケ欧州・元ヨージヤマモト欧州社長)を起用。

## 効果



- 参加デザインへの事前WEB投票では**計3830票**を集めた。事前事後に**地方紙5紙に露出(英字紙含)**。当日はNBC、ABCのTVクルーが来場。広く日本文化を紹介する契機にできた。
- 会場は**250名の観客席がほぼ満席(入場無料)**。約**70%は米国人**であった。来場者アンケートでは**96%が「満足した」「日本文化の理解が深まった」と回答**。日本の伝統素材の理解促進・普及に貢献できた。
- 実際に**遠州綿袖を使用した服の購入への動き**に繋がっており、**新規商品開発や販路開拓を促進**できた。
- 当日の動画は日本の地方伝統素材の生産者に広く共有され**「デジタル田園都市国家構想」**にも貢献。
- 10月にはNY(ブルックリン地区ジャパングレージ)でも開催予定。

## 日時等



- 実施日時: 2022年10月8~10日(土~月) \* 3連休
- 実施場所: JAPAN VILLAGE (NY州ブルックリン)
- 訴求対象: NY市近郊の米国人等
- 実施形式: 対面(デザインコンテストはWEB投票も実施)
- 開催規模: 来場者のべ約500名

## 概要



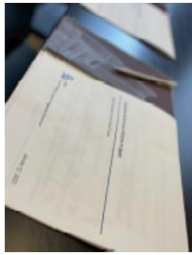
- **世界8ヶ国8名のプロデザイナーが10種類の日本の伝統素材を使用して製作し、多国籍ダンスグループがモデルを務めたファッションパフォーマンスショーと、10組の在米若手デザイナーが尾州再生ウールを使用したファッションデザインコンテストの2部構成**で実施。
- 尺八・三味線・地元DJのコラボ演奏やアートのライブパフォーマンス、伝統素材等の紹介も実施。
- 森NY総領事(大使)、**エレーン・ファンNY州知事室アジア担当局長、アンドリュー・キンボルNY市経済開発公社CEOが挨拶。レセプションにはNY州下院議員も参加。**
- 審査員には増田セバスチャン氏(アーティスト)、レジーナ・カルラヴァーロ氏(ジャノメ・アメリカ)、齋藤統氏(元イッセイミヤケ欧州・元ジョージヤマモト欧州社長)を起用。

## 効果

- フェアは3日間でのべ約500名の来場があり、ショーには約300名の観客席で満席となった。
- 参加デザインへの事前WEB投票では全世界から約12万票を集め、公式SNSは合計約9万回閲覧された。
- **日本経済新聞、ヤフーニュースや業界紙含め4紙に掲載。**
- **実際に日本の伝統素材を使用したファッションの購入への動きにも繋がり商品開発や販路開拓を促進**できた。
- 地元のデザイン系大学から学生ボランティアスタッフを受け入れ、**米国の若いタレントに日本の文化や伝統素材の価値の理解を増進**する機会にもできた。
- 当日の動画は日本の地方伝統素材の生産者に広く共有され「デジタル田園都市構想」にも貢献できた。
- 総じて、**海外の事業者とオープン・イノベーションに取り組み商品企画を行うことや、海外マーケットに直接接続して顧客創出・需要拡大を行う事例を示す**ことができた。

60 在ニューヨーク投資家・金融機関等対象：「日本のコーポレートガバナンスの進展」についての情報発信 【在ニューヨーク総領事館】

日時等

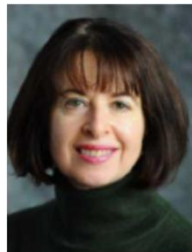


- 実施日時：2023年1月12日（木）
- 実施場所：ニューヨーク州ニューヨーク市
- 訴求対象：在ニューヨーク及びニューヨーク近郊の投資家・金融機関（投資ファンド・大手銀行等）
- 参加者：56名（事前登録：70名）

概要



（井上俊剛審議官）



（アリシア小川氏）

- 昨年、岸田首相がニューヨーク証券取引所における講演で、「世界中の投資家から意見を聞く場を設けるなど、日本のコーポレートガバナンス改革を加速化し、更に強化する」との発言を受け、そのフォローアップとして**日本のコーポレートガバナンス改革に関するセミナー**を開催した。
- 金融庁の井上俊剛審議官より、「**コーポレートガバナンスの進展と政府の取組み**」、「**資産所得倍増プラン**」、「**国際金融センター**」に関するプレゼンを行った後、モデレーター（アリシア小川氏・コロンビア大学日本経済経営研究所ディレクター）との対談、参加者との質疑応答が行われた。

効果



（プレゼンの様子）



（対談の様子）

- 参加者との意見交換では、日本のコーポレートガバナンスの課題や今後必要な対応等について、活発な意見交換が行われた。
- セミナー終了後のアンケート結果では、セミナーの満足度について、**5段階中（5が最高評価）で平均4.5**となり、「**講演者のプレゼンを通じて日本のコーポレートガバナンス改革に関する理解が深まった**」、「**モデレーターとの対談、質疑応答は非常に興味深く重要な論点をカバーしていた**」等、セミナー内容を高く評価する声が多く寄せられ、満足度の高いイベントとなった。
- 本ウェビナーを通じて、日本政府の重要政策の一つであるコーポレートガバナンス改革を情報発信することで、**日本へ関心を高め、日米経済強化につながる機会となった。**

## 日時等



AUTHENTIC JAPANESE  
WAGYU TASTING  
PHILADELPHIA | NOVEMBER 14, 2022  
フライヤー



セミナーの様子



レセプションの様子



森総領事・大使の挨拶



提供された和牛メニュー



参加シェフ

Japan's wagyu beef gets a boost in Philadelphia



NHK Worldでの放映

## 概要

- 日時: 2022年11月14日(月)
- 場所: Kimmel Center
- (ペンシルベニア州フィラデルフィア市)
- 対象: フィラデルフィア近辺の政財界要人、メディア、インフルエンサー、飲食事業者など
- 開催規模: 約150名

- 米国東海岸でNYに次ぐ人口を有するフィラデルフィアにて、**日本産和牛の新たな市場開拓を狙ったレセプション**を実施。
- 本レセプションの**前段として、10月に現地の著名シェフを対象としたセミナー**をジェットロとの共催で実施し、米国産のWagyuとの違いや、部位ごとの取扱方法等を解説。
- セミナー**参加シェフにサンプルを配布し、翌月のレセプションで提供する和牛メニューの考案を依頼**することにより、**セミナーとレセプションが連動**。
- レセプション当日は、セミナー参加シェフ12名から、それぞれの**多彩なバックグラウンド(イタリアン、フレンチ、ナイジェリア、マレーシアなど)**を活かした、**特別な和牛メニューが提供**された。
- 森NY総領事・大使、**ペンシルベニア州及びフィラデルフィア市の政府代表者**の他、**日本から来た和牛生産者の代表が挨拶**し、日本産和牛の特徴を参加者に直接訴求した。

## 効果

- 想定を上回るゲストが来場し、多くの人に日本産和牛の特徴や魅力を訴求できた他、**現地の政府関係者との関係構築**を図る良い機会となった。
- ステーキだけではない、**世界各国の料理と日本産和牛の相性の良さ**を紹介することができた。
- 参加シェフにとっては、自ら考案したメニューについて直接消費者から反応を得られる、**テストマーケティングの機会**となった。レセプション当日に提供したメニューの**レシピ集を作成**した。
- NHK、TBS、朝日新聞、共同通信など大手日系メディアの他、**6abcなど現地メディアでも報道**された。
- レセプションに参加した12名のうち5名がホリデーシーズンに期間限定の**日本産和牛メニューを提供**。実際に**取扱いの拡大につながった**。

## 日本の味噌に関する理解促進・活用に向けたワークショップ 【在ニューヨーク総領事館】

### 日時等



日本各地の味噌を紹介

- 実施日時: 2023年3月7日(火)
- 実施場所: Dashi Okume (NY州NY市ブルックリン区)
- 訴求対象: 料理系メディア、ホームシェフ、フードライター、フードインフルエンサー等
- 開催規模: 約20名

### 概要



ワークショップの様子

- 味噌の日常的な利用促進を目的に、発酵食品に興味を有する層を対象とし、かつ人数を限定することで、**参加者一人ひとりが密度の濃い体験をすることに焦点**を当てて実施した。
- 味噌のスペシャリストを講師として迎え、「味噌は多様で自由！」をテーマとし、**日本各地の様々な種類の味噌について、基礎的な知識やそれぞれの特徴を丁寧に解説**した。
- 野菜スティックや、日本酒と合わせることで、それぞれの**味噌との相性や味わいの変化を検証**した。
- 日常的に食べる機会が多い、**サラダ用味噌ドレッシングと味噌汁について、多様な味噌を試しながら自ら作るプログラム**を取り入れた。
- 味噌汁の**具材は必ずしも日本的な物ではなくても良いと伝える為**、現地スーパーで買えるベーコン、モッツアレラチーズ、バジル等を並べる等工夫した。

### 効果



遠藤首席領事の挨拶



料理雑誌とのタイアップ記事

- 多くの参加者から**ユニークな体験であり実践的で役に立ったと評価**された。参加者による**SNSの発信**などを通じて、幅広い層に**アプローチ**することができた。後日、**自宅で味噌ドレッシングを作ってSNSで発信**する参加者も見られた。
- 参加者のSNSを見た方々から、開催場所に対して、**一般向けにも同様のイベントを開催してほしいとの希望が相次いだため**、今後、自力開催が検討されているなど、**次につながるワークショップ**となった。
- タイアップした料理雑誌では、ワークショップの内容を丁寧に解説し、**味噌の入手方法やレシピの紹介も記載されることで、実際の活用促進**につながった。
- 開催場所となったエリアは、日本関係の出店が相次ぐ**ホットスポット**として、イベント実施前に**ニューヨークタイムズ**で取り上げられたこともあり、**流行に敏感な若者たちの興味・関心を引く**こともできた。

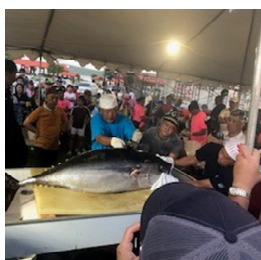
## 63 グアム日本人会主催「秋祭り」における「マグロの解体ショー」 【在ハガツニャ総領事館】

### 日時等



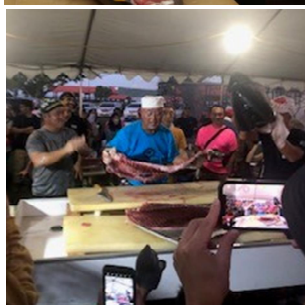
- 実施日時: 2022年11月19日(土)
- 実施場所: イパオ公園
- 訴求対象: グアム住民他
- 来場者数: のべ1,500人(尚、秋祭りの来場者数は約42,000人)

### 概要



- 新型コロナウイルスの影響により**3年ぶりに開催されたグアム日本人会主催の第41回グアム日本人会秋祭り**において、**日本文化や日本の食を発信するためのメインイベントとして、マグロの解体ショーが行われた**。解体ショーの様子は、会場に設置された大型スクリーンで生中継され、多くの来場者がその様子を観覧することができた。
- 日本食のシェフが複数の包丁を使い大きなマグロをダイナミックに切り分けると共に、その繊細な技術が味にも影響を与えることを示した。
- グアム島民は一般的に親日的であるが、必ずしも日本の食文化等の伝統文化に精通しているわけではない中、**解体ショーで刺身を試食してもらうことで、日本の食文化を味わってもらえる機会となった**。

### 効果



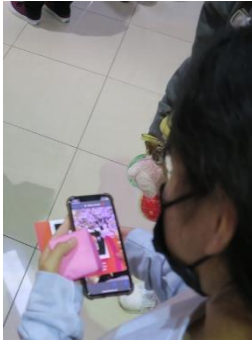
- 解体ショーのブースの前には最大500人程の列ができ、包丁裁きには多くの観客から歓声が上がった。解体ショーにより、現地における**日本の農水産品の需要喚起に貢献**することができた。
- 委託先のレストランのみならず、シェフ会(現地の日本食レストランのシェフから成る集い)のメンバーがボランティアで解体ショーを手伝ったことで、島民が日本食レストランに足を運ぶきっかけとなり、**日本食レストランへの支援や現地における日本の食文化への関心を高める**ことができた。
- 日本から輸入したマグロの刺身を食する体験や日本の包丁の切れ味等の魅力を発信することで、**訪日観光の促進に資**することができた。

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月3日(土)、10日(土)、及び24日(土)
- 実施場所: グアムプレミアムアウトレット、マイクロネシアモール、アガニヤショッピングセンター
- 訴求対象: グアム住民
- 来場者数: 680名 (Japan Saturdays全体は1,005名)

## 概要



- 日本の伝統文化や先進的な技術の両側面を現地の住民に発信することを目的としたイベント「Japan Saturdays」を開催した。
- イベントでは和太鼓の演奏や折り紙、けん玉教室といった日本の伝統文化の紹介や**日本の最新のVR技術を体験できるブース (VR Japan Experience) をショッピングセンターに設置することで、幅広い層の対日関心の向上に貢献した。**
- VR Japan Experienceでは、日本文化をVR技術で体験できるブースやARフォトフレーム、ARマーカ一等を現地唯一の日系の通信企業が運営した。

## 効果



- 通信インフラが脆弱な現地において、VR Japan Experienceを現地唯一の日系通信企業が実施したことで、草の根レベルで日本のプレゼンス向上に寄与した。特に、**テノリオ副知事がコンテンツを体験したことで日系企業の活動を発信することができた。**
- VR日本体験及びARフォトフレームは、バーチャルで日本を体験することができるもので、コロナ禍で2年以上訪日機会がなかった当地住民に対し、日本へのインバウンド需要を喚起することに貢献できた。



# オクラホマにおける日米経済関係の強化

## 【在ヒューストン総領事館】

### 日時等

The Honorable Shirofumi Matsuyama, Consul General of Japan  
 Consulate-General of Japan in Houston, Texas,  
 requests the pleasure of your company,  
 along with your spouse and/or a guest,  
 at an informal luncheon and sushi reception  
 on Wednesday, June 29, 2022,  
 at the Will Rogers Theatre Center,  
 4000 N. Western Ave., Oklahoma City, Oklahoma,  
 from 12:00pm to 2:00pm.

- 実施日時: 2022年6月29日(水)
- 実施場所: オクラホマ州オクラホマシティ
- 訴求対象: オクラホマ州の有力政治・経済関係者  
及び日米交流関係者
- 開催規模: 約210人

### 概要



パートレット在タルサ名誉領事



佐藤宇都宮市長



- オクラホマ州における日米経済関係強化を目的としたレセプションを、同州において我が国の在タルサ名誉領事が任命され、かつ、オクラホマ日米協会が新会長が就任した機会を捉えて実施。
- 村林在ヒューストン総領事は、竜巻等が多発するオクラホマ州で、日本企業が気象情報通報システム研究を行い、同システムを日本で開発・発展させてオクラホマ州に提供している事例を、防災分野でのデジタル田園都市国家構想に資する例として紹介。
- JETROヒューストン事務所長も同席し、同事務所と在ヒューストン総領事館が発行している「テキサス進出日系企業英文ディレクトリ」を、米国南部における日本企業紹介、コンタクト先として出席者に配布。
- オクラホマ州タルサ市と栃木県宇都宮市の姉妹都市交流30周年に鑑み、宇都宮市長からのビデオ・メッセージを上映。
- 日本文化紹介イベントとして、地元クラブによる太鼓と居合道のパフォーマンスを実施。

### 効果



- オクラホマシティ、タルサ両市長をはじめ州内主要都市の市長や州議会議員等の出席を得、オクラホマ州における日本のプレゼンスをアピールし、日米経済関係の基盤と人的ネットワークを強化する良い機会となった。
- ホルト・オクラホマシティ市長が、翌朝に地元テレビ局のインタビューにおいて、本レセプションへの出席と、同市にとっての日本との交流の重要性を説明する等、出席者を通じての幅広い広報効果もあった。

## 仙台・ダラス国際友好都市25周年を記念した仙台市公式訪問団歓迎レセプション 【在ヒューストン総領事館】

### 日時等



- 実施時期: 2023年1月17日(火) 18:00~20:00
- 実施場所: Crow Museum of Asian Art of UT Dallas
- 訴求対象: ダラス・仙台国際友好都市交流関係者、日米経済交流関係者
- 開催規模: 約100名

### 概要



- 仙台・ダラス国際友好年25周年を記念し、仙台市から**郡市長率いる公式訪問団がダラスを訪問**。この機を捉え、ダラス・フォートワース日米協会との共催により、**訪問団歓迎レセプション**を開催。
- レセプションには、**ダラス市当局や友好都市交流関係者、ダラス地域のビジネス関係者など幅広い関係者が参加**。
- 村林総領事はスピーチで、**ダラス地域では近年日本企業数が大きく増加し、日本が同地における最大の投資国**となっていること等、**日本企業の貢献を紹介**し、同地において両市の活発な交流が日米交流にとって意義深いものであることを強調した。
- **ジョンソン・ダラス市長と郡仙台市長がスピーチ**を行い、両市のこれまでの文化・教育・産業などの各分野での交流の歴史を振り返りつつ、今後の更なる交流関係の発展を誓い合った。
- 会場では、仙台市政や観光情報を紹介するパンフレットの配布なども行われた。

### 効果



- 両市長出席の下、両市関係者が今後の更なる交流発展を確認するとともに、**ビジネス関係者間の交流・ネットワーキングを拡大**する機会となった。
- 仙台市訪問団の来訪に先駆け、**ロン・カーク氏(国際友好都市締結時のダラス市長、元米国通商代表)**が**地元新聞に記事を寄稿**。両市の友好交流25周年や同地における日本企業の進出、今後の更なる日米経済交流の可能性を論じ、**ダラス地域における日米交流の拡大について広くアピール**することに繋がった。

## 日時等

The Consulate General of Japan in Houston will host a reception, in collaboration with the Economic Development & Tourism (EDT) Division, Office of the Governor Greg Abbott and Japan External Trade Organization (JETRO) Houston, on the occasion of the visit of JETRO's Select Texas Investment Mission.

Hirofumi Marabayashi, Consul General of Japan in Houston, requests the pleasure of your company at this reception.

Wednesday, February 8<sup>th</sup>, 2023  
6:00 pm - 8:00 pm

- 実施時期：2023年2月8日（水）
- 実施場所：テキサス州オースティン
- 訴求対象：テキサス州及び同州内各自治体の経済開発部局関係者
- 開催規模：約90名

## 概要



村林総領事

クルーズ  
州知事室経済開発・観光局長

曾根JETROミッション団長

- JETRO企業ミッションのテキサス州来訪の機会に、日本企業の投資誘致を図る自治体を対象に、直接のコンタクト形成のためのレセプションを開催。
- 村林在ヒューストン総領事は、近年における日本企業北米拠点のテキサス州移転の動きや、テキサス州に進出する日本企業の急増などを紹介し、日本企業がテキサス州でいかに経済発展、雇用創出に貢献しているかを強調。
- テキサス州側では、州知事室経済開発・観光局がレセプションの共催となり、クルーズ局長自ら、日本企業投資受入れに当たっての州側の役割を説明。
- 曾根JETROミッション団長は、ミッション参加企業の中に既にテキサス州進出を決めている企業があくつもある点に触れる等、日本企業の対テキサス投資熱の高さを強調。

## 効果



- 参加者からは、直接のコンタクトを形成できたのみならず、直接のコミュニケーションでなければ知りえないような具体的なニーズ等を知ることができ、非常に有益であったとの声が聞かれた。
- アボット・テキサス州知事が、翌日にJETRO企業ミッションと面会した際に本レセプションについても話題となり、面会の模様を自らのツイッターに掲載してフォローが1.4万件にも上る等、幅広い広報効果もあった。

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月10日(土)
- 実施場所: テキサス州フリスコ
- 訴求対象: ダラス・フォートワース地域の米国人
- 開催規模: 約2,500人

## 概要



- 日本企業数が過去10年で2倍以上に増加し、日本への関心が年々高まっている同地において秋の行事の「お月見」をテーマに日本式のお祭りを開催した。
- 伊藤園ら**現地日系企業のPR**の他、現地日本日用品店による**日本の雑貨や日本食品(お団子、お餅等)の販売**を実施。**寿司や丼物**を提供するフードトラックも出店。
- **和太鼓や尺八、相撲、剣道**のステージパフォーマンスや、**来場者参加による盆踊り**、当地日本文化関係団体による**書道や折り紙、生け花、茶道等の体験アクティビティ**等日本文化を紹介。
- **宮城県観光PRキャラクターの「むすび丸」**も参加し、ダラス市・仙台市の姉妹都市締結25周年をPRした。

## 効果



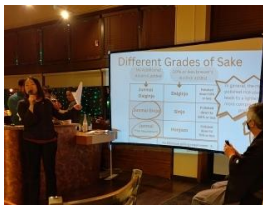
- フリスコ中心地での開催であり、日本に関心のある層以外にも幅広い年代層の参加があり、**日本コミュニティによる地域社会への貢献や、日本企業の活動等をアピール**する機会となった。
- 2023年1月にダラス市において予定されているダラス・仙台の姉妹都市交流25周年記念行事の機運の向上に繋がった。

## 日時等



- 実施日時: 2022年11月17日(木)
- 実施場所: オクラホマ州オクラホマシティ
- 訴求対象: 州内レストラン関係者・酒類販売者・日本酒に関心のある一般層、日米・日オクラホマ関係者
- 開催規模: 約100人

## 概要



- オクラホマにおける日本酒の普及・消費拡大につなげることを目的に、実際に**日本酒を販売・提供・紹介する立場となる者を招待**して開催。
- 日本酒講師により、**日本酒の基礎的な知識や種類・特徴、日本食とのマッチング等**について講義。
- **4種類の特徴が異なる日本酒を提供**し、参加者は、**飲み比べや、料理とのマッチング等**を体験し、日本酒の楽しみ方について理解を深めた。
- 試飲会を盛り上げるため、地元の和太鼓グループによる演奏や書道パフォーマンス、剣道、居合道の演武等も行われた。
- 試飲用の日本酒は、**オクラホマ州内の自治体の姉妹都市関係にある自治体の日本酒を選定**、参加者が姉妹都市交流に関するエピソードを紹介する場面もあった。

## 効果



- 参加者からは、学んだ知識を**ゲストに日本酒を提供する際に早速活かしたい**、**日本酒を普段から楽しめるお酒として紹介していきたい**といった感想が寄せられた。
- 日本酒の普及・消費拡大に加え、**日本酒を通じた日本文化の発信や、姉妹都市交流を通じた日米友好のPRの機会**とすることができた。

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月22日(木)
- 実施場所: テキサス州ラレド市
- 訴求対象: テキサス州政府経済部局、テキサス州南部対メキシコ国境地帯の自治体、ビジネス関係者、大学関係者等
- 開催規模: 約200名

## 概要



- 村林在ヒューストン総領事は、テキサス州の対メキシコ国境の主要貿易都市であるラレド市の経済開発公社からの依頼で、同公社主催の経済シンポジウムにおいて、「日・テキサス貿易関係とラレド港」をテーマとした講演を実施。
- 講演では、テキサス州における近年の日系企業の増加、日系企業の北米拠点のテキサス州への移転、LNG輸出が急増しているテキサス州の対日輸出、ラレド港が一大拠点であるテキサス州の対日輸入等について説明し、日本とテキサス州の経済関係の緊密さと今後の更なる深化の見込みを強調した。

## 効果



- 講演後のインタビューが地元テレビで放映され、ラレド市民及び対メキシコ国境地帯の住民に対し、日本とのテキサス州及びラレド港との経済・貿易関係について広くアピールする機会となった。
- 講演後、聴衆から、「日本とテキサス州、ラレド港との経済関係がここまで深いとは思わなかった。」「トヨタや三菱重工などの非常に有力な日本企業がテキサス州に北米の拠点を移転してきていることは州民として誇らしい。」等の反応があった。

## 特記事項

- ラレド港は、トヨタのサンアントニオ工場に不可欠な日本製部品の輸入拠点であるため、この文脈で、日米サプライチェーン協力強化の重要性に関するアピールを行った。

# 在日米軍経験者を招いたMilitary Appreciation Eventの開催 【在ヒューストン総領事館】

## 日時等



- ・実施日時: 2022年5月14日(土)
- ・実施場所: アイゼンハワーパーク  
(テキサス州サンアントニオ市)
- ・訴求対象: 在日米軍経験者及びその家族
- ・開催規模: 約200名

## 概要



- 陸海空全ての軍事基地が揃い、「Military City USA」の愛称をもつサンアントニオ市において、日本駐在を通じて日本への造詣を深めた在日米軍経験者及びその家族とのネットワークの構築・強化のための交流会を、サンアントニオ日米協会と共催。
- 在日米軍を経験した現役、退役軍人及びその家族を中心に広く参加を募ったところ、定員を大きく超える参加者が得られた。
- ニーレンバーグ・サンアントニオ市長ら地元の要人も参加したほか、ラックランド米軍基地語学研修所において研修中の自衛官10名も駆けつけ、参加者と交流した。
- 米軍各部門の軍歌演奏、和太鼓演奏、武術演武などのステージパフォーマンスが行われたほか、在日米軍基地ごとのブースが設置された。

## 効果



- 日本駐在当時の良き思い出を語り合うアットホームなイベントとなり、在日米軍経験者に引き続き日本に親しみをもってもらうことで、草の根からの日米交流を推進する機会となった。
- ニーレンバーグ・サンアントニオ市長が自身のFacebookにて当イベント出席を発信するなど、米軍と日本のつながりを通じて、対外的にも、日米の友好関係を広くアピールできた。

## ANIME MATSURI 2022における日本文化紹介

【在ヒューストン総領事館】

## 日時等



- ・実施日時: 2022年7月28日(木)～31日(日)
- ・実施場所: テキサス州ヒューストン市
- ・訴求対象: アニメや日本文化に興味を持つ米国人
- ・開催規模: 約430人(ANIME MATSURI 2022全体では4日間で延べ約60,000人来場)

## 概要



- 北米第4位の規模を誇るアニメ・コスプレ・日本文化紹介イベントである「ANIME MATSURI 2022」に総領事館として参加。開会式にはターナー・ヒューストン市長がコスプレで参加。
- 会場内に総領事館ブースを設置し、「歌舞伎」を題材とした日本文化紹介や、体験アクティビティを提供したほか、JETプログラム、日本留学、観光情報を発信。
- 会場内のイベント・スペースで、総領事館職員から、「日本のホラー」、「日本での生活のリアル」をテーマとしたプレゼンテーションも実施。
- 会場外では、和楽器によるコンサートや相撲大会が開催されたほか、お祭り屋台をイメージした飲食スペースが実施されるなど、アニメ以外の日本文化の紹介も行われた。

## 効果



- 潜在的日本関心層である日本のポップ・カルチャーファンの若い年齢層に対して、ブースでのレクチャーやプレゼンテーションを通じて、日本についての正しい知識や、より深い情報に触れるきっかけとすることができ、対日理解を深め、より興味を広げることにつながった。



# テキサス州における日米経済関係の強化

## 【在ヒューストン総領事館】

### 日時等

The Consulate General of Japan in Houston will host a reception, in collaboration with the Economic Development & Tourism (EDT) Division, Office of the Governor Greg Abbott and Japan External Trade Organization (JETRO) Houston, on the occasion of the visit of JETRO's Select Texas Investment Mission.

Hirofumi Maruyama, Consul General of Japan in Houston, requests the pleasure of your company at this reception.

Wednesday, February 8<sup>th</sup>, 2023  
6:00 pm - 8:00 pm

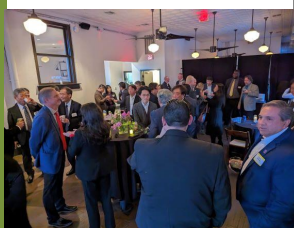
- 2023年2月8日(水)
- 実施場所: テキサス州オースティン
- 訴求対象: テキサス州及び同州内各自治体の経済開発部局関係者
- 開催規模: 約90人

### 概要



- **JETRO企業ミッションのテキサス州来訪の機会に、日本企業の投資誘致を図る自治体を対象に、直接のコンタクト形成のためのレセプションを開催。**
- 村林在ヒューストン総領事は、近年における日本企業北米拠点のテキサス州移転の動きや、テキサス州に進出する日本企業の急増などを紹介し、**日本企業がテキサス州でいかに経済発展、雇用創出に貢献しているかを強調。**
- テキサス州側では、**州知事室経済開発・観光局**がレセプションの共催者となり、クルーズ局長自ら、**日本企業投資受入れに当たっての州側の役割を説明。**
- 曾根JETROミッション団長は、ミッション参加企業の中に既にテキサス州進出を決めている企業があくつもある点に触れる等、**日本企業の対テキサス投資熱の高さを強調。**

### 効果



- 参加者からは、直接のコンタクトを形成できたのみならず、**直接のコミュニケーションでなければ知りえないような具体的なニーズ等を知ることができ、非常に有益であったとの声**が聞かれた。
- **アボット・テキサス州知事**が、翌日にJETRO企業ミッションと面会した際に本レセプションについても話題となり、面会の模様を**自らのツイッターに掲載してフォローが1.4万件にも上る等**、幅広い広報効果もあった。

## テキサス州内日米協会関係者交流レセプション

【在ヒューストン総領事館】

### 日時等

- ・実施日時: 2022年10月11日(火)
- ・実施場所: 在ヒューストン総領事公邸
- ・訴求対象: テキサス州内日米協会役員ほか
- ・開催規模: 30人

### 概要



- ピーター・ケリー全米日米協会連合会 (NAJAS) 会長のテキサス州訪問の機会を捉え、**テキサス州内の4つの日米協会(ヒューストン、ダラス・フォートワース、サンアントニオ、グレーターオースティン)の役員、関係者を招いた交流レセプションを開催。**
- 村林総領事から、13年にわたりNAJAS会長を務め今期での勇退を公表していたケリー会長に対し、全米各地の日米協会の発展への多大な貢献を称えるとともに、**総領事館と日米協会との緊密な協力関係を確認する旨のスピーチを行った。**

### 効果



- 4つの日米協会の活動状況や課題などについて、活発に意見交換することができた。
- **総領事館とテキサス州内日米協会の協力関係を更に強化していくことを確認する場となった。**

## 日時等



- 実施日時: 2022年4月1日から2023年3月31日まで
- 実施場所: マサチューセッツ州ボストン、ケンブリッジ  
ケンブリッジ・イノベーションセンター(CIC)
- 訴求対象: 在ボストン総領事館管轄地域の米国人
- 訴求規模: 数百人規模

## 概要



- 日系企業の事業サポートやCICで開催される各種イベントにて日系企業の商品や技術の情宣を目的に、2017年4月よりケンブリッジ・イノベーション・センターに在ボストン総領事館のサテライトブースを設置している。
- CICは日系企業が約30社、現地企業約700社が入居する巨大な組織(コワーキングスペース)であり、日頃から各入居企業との情報交換を行い、日系企業のプレゼンスアップに寄与している。
- また、今年度は、CICの主要イベントである日本発スタートアップ社のピッチイベント「Japan Innovation Night」を当館が後援し、ボストン所在のVCやエコシステム関連者に情報収集、宣伝を行った。

## 効果



- 日米問わず、各企業・組織と約30回の個別面談、CIC関連のイベントを3回開催。
- ボストンに進出を検討している企業からの問い合わせも多く、相談・支援を実施した企業のうち、実際にCIC等ボストンへ入居した企業も複数ある。
- CICの主要イベントである「Japan Innovation Night」について、2022年度はイノベーションにおける女性の障壁を取り除くためのパネルディスカッションが行われたほか、バイオテクノロジーやヘルステックの分野で活躍する日本のスタートアップ企業14社によるプレゼン(ピッチ)や、日本の食品・飲料の紹介等を実施。本イベントは毎回数百名の参加があり、日系スタートアップのプレゼンスアップに大きく貢献。

## 日時等



- 実施日時: 2022年11月25日～2023年2月10日
- 実施場所: マサチューセッツ州ボストン、ケンブリッジ
- 訴求対象: 在ボストン総領事館管轄地域の住民
- 開催規模: 2,000人規模

## 概要



- 日本の食文化の一つであるラーメンの認知度向上及び定着化、また新型コロナウイルスのパンデミック後を見据えた現地における日本食需要の発掘を目的として、ボストン市内の主要なラーメン店8店舗と共催し、ラーメンスタンプラリー「Boston Ramen Crawl」を開催。
- マサチューセッツ州に出店しているラーメン店で一定軒数飲食した一般の顧客に対して、ラーメン店舗のロゴを印刷した記念品(Tシャツ)を提供。
- ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学をはじめとする大学、CIC(Cambridge Innovation Center)、日本航空等の民等間企業から支援もあり、本イベントに関する宣伝も実施。

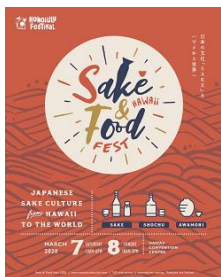
## 効果



- イベントを開催することで各ラーメン店舗での集客規模を大きくすることができ、多くの住民に日本のラーメン並びに食文化を紹介する機会となった。
- 参加者のうち約70名にアンケートを実施したところ、「イベントに満足した(5段階評価4以上)」が98%を占めた。また、多くの参加者から「良いイベントであった」、「もう一度やってほしい」等のコメントが寄せられた。
- 在ボストン総領事館のホームページやFacebook等のSNSに加え、大学・民間企業等にも幅広く周知することで、より多くの地域住民にイベントについて発信することができた。

## ホノルルフェスティバルにおける「泡盛輸出促進イベント」 【在ホノルル総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年3月11日(土)・12日(日)
- 実施場所: ハワイ州オアフ島ホノルル市  
(ハワイコンベンションセンター内)
- 訴求対象: ホノルルフェスティバル来場者
- 開催規模: 約23,500名

### 概要



- 新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりの開催となった「Honolulu Festival」(毎年3月にハワイで開催される日本を中心とした環太平洋地域の文化交流促進事業)の「Sake & Food Fest」内にブースを設置し、ハワイ在住者を中心にイベント期間中にハワイを訪れた観光客も含めた来場者に対し、泡盛および沖縄の魅力を発信。
- 滝田まな氏(琉球泡盛広報大使)及び瑞慶覧りか氏(泡盛の女王)による泡盛を主軸とした沖縄の歴史文化等の理解を目的としたプレゼンテーションを実施。さらに両名はパレードにも参加し、泡盛についてのプロモーションを行った。
- 泡盛の輸出促進を目指し現地住民がより泡盛に親しみを感じてもらうため、パイナップルジュースで割った泡盛や沖縄の観光情報を提供した。

### 効果



- バイリンガルモデル兼タレントであるサーシャ(BS12のハワイの紹介番組「ハワイに恋して!」)に出演、Instagramフォロワー数3.1万人)がInstagramのライブ配信で泡盛PRブースを紹介することで、ハワイ内外の幅広い層に発信することができた。
- インフルエンサーのライブ配信により、ハワイの主要産業である観光業について、ハワイの安全性や日本への関心の高さを日本向けにもPRすることができた。
- 2023年3月15日付の琉球新報で泡盛PRブースの様子が報道された。
- アンケートを実施した結果、総領事館主催イベントの初参加率は78%超で新しい層へリーチすることができた。(日本理解促進は80%超)

日時等



- 実施日時: 2022年12月13日(火)
- 実施場所: ハワイ州ホノルル市
- 訴求対象: ハワイ州の政府機関関係者及び財界関係者等
- 開催規模: 90名

概要



- **島国であるハワイと日本が共有する経験に基づき、両地域の専門家が災害と復興について議論した。**パネリストはテクノロジー、コミュニケーション、保険等の各業界で、過去の災害からの学びや将来の災害への備えについて発表した。
- 谷川経団連米国事務所長から開会の挨拶があり、スザンヌ・ヴァレス・ラム東西センター理事長の司会によりディスカッションが行われた。最初のパネルではデビッド・ロペス・ハワイ州危機管理庁職員、今村太一東京電力ホールディングス(株)マネージャー、川波陽ハワイアン・エレクトリック社カスタマー・リソース・オペレーションズディレクターが**それぞれの会社の災害対策と緊急時にハワイの住民が自宅等を守るための方法についてプレゼンテーションを行った。**
- 第2部では、カール・キム・ハワイ大学マノア校都市・地域計画学科教授兼災害管理・人道支援大学院プログラムディレクター、北田尚久JR東海ワシントン支社長、バート・ビーバーNECハワイ事業開発マネージャー、依田誠First Insurance Company of Hawaii Ltd.代表取締役がパネリストとして参加し、それぞれの立場から災害への備えと復興について意見を述べた。

効果



- ハワイ島は火山活動が活発で津波への警戒心も強く、総じて防災への関心が高いため、**防災分野における日本企業の優良事例や技術、知見を現地の企業関係者、自治体関係者、一般市民等に広く共有することで、米国のパートナーとしての日本の姿を発信することができた。**
- セミナーには、経団連米国事務所のコーディネートによって、日本企業のワシントン駐在員の出席を得ることができ、パネルディスカッションを通じて**日本企業の提供する製品やサービスについて具体的に紹介することができた。**
- セミナー後のレセプションでは、日本企業関係者と、現地の災害対策関係機関関係者、政財界の有力者、有識者等の間の人脈構築を図ることができた。
- ハワイ日米協会のウェブサイト当日の様子の動画が掲載され、広く発信することができた。

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月15日(木)
- 実施場所: フロリダ州在マイアミ総領事公邸
- 訴求対象: 現地日系企業及び日米南東部会日米合同会議の準備委員
- 開催規模: 約30名

## 概要



中井マイアミ総領事



- **日米南東部会日米合同会議**は、11月にオーランドで開催予定であり、その**準備会合がマイアミで開催される機会を捉え**、現地で活動する**日系企業を招いて相互の関係構築を図るレセプション**を開催。
- 中井在マイアミ総領事から冒頭挨拶にて、**日米合同会議について、日本と米国南東部7州の貿易・投資関係を一層活発にする契機**としての重要性を強調し、**日系企業に同会議への関心を喚起**。また本レセプションの機会を、現地で活動する日系企業相互及び南東部会準備委員との関係構築に役立ててほしい旨も併せて伝達。

## 効果

- マイアミ日本商工会(JBAM)の会員数は、過去2年間減少を続けている。各企業の経営判断による事務所の縮小・閉鎖が主な要因ではあるが、JBAM幹事会では、会員数の反転増加に向けて、JBAMの勧誘強化と現地活動の活性化の必要性を認識している。2020年初頭以来、コロナ禍により日系企業が集うイベントはJBAM・総領事館主催を問わず実施できなかったが、本件レセプションには、**マイアミを拠点とする日系企業の約3分の1が出席**。久々の**ネットワーキングの機会**となり、相互に初対面となる参加者も多く見られた。
- 本年の日米合同会議は、**フロリダ州がホストを務める16年ぶりの会議**となる。またコロナ禍により対面で開催されるのは2年ぶり。こうした中で、**現地の日系企業に本件合同会議を周知し、参加を呼び掛ける好機**ともなった。

## 日時等



- 実施日時: 2022年11月6日(日)
- 実施場所: フロリダ州キシミー市レイクフロント公園
- 訴求対象: 中央フロリダ地域の米国人
- 開催規模: 7,500人

## 概要



- 新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、関係者の協力に基づき感染予防策を講じたうえで、現場での実施が可能となった。
- オープニングでは、**オーランド太鼓道場や祭座などで構成された100名による太鼓パフォーマンス**が実施され、多くの来場者が同パフォーマンスの迫力に魅了されていた。
- **中井総領事が挨拶を行い、主催者であるオーランド日本人会及び同祭のスポンサーであるフロリダを拠点に営業を行う日本企業などに対し感謝の言葉を伝えた。**
- その後も、ステージ上では日本舞踊、空手、琴などのパフォーマンスが行われ、今年はメインイベントとしてコスプレコンテストが行われ、会場からは各コスプレイヤーに対し、大きな拍手が起こっていた。

## 効果



- 現地メディアへのプレスリリース等により、**6件のメディア**において、**オーランド日本祭開催に関する情報発信**を行うことが出来た。
- 新型コロナの影響がまだ残る状況の中、例年と同等もしくはそれを上回る約7,500人の来場者があり、**フロリダの地において、改めて日本をPRする良い機会**となった。
- 本祭には、**(株)三越などの日系企業が参加**していたが、**(株)三越**においては、**日本に関連した商品をラインナップしたバザーのブース**を出しており、盛況な様子であった。こうした日系企業のブースを通じた日本PRは有効であると感じた。
- 主催者の話では、コスプレコンテストは例年以上の盛況ぶりであり、**日本のアニメの認知度の高まりを感じた**、とのことであった。



## 日時等



- 実施日時: 2022年4月27日(水)
- 実施場所: カリフォルニア大学アーバイン校
- 訴求対象: オレンジ郡の米系・日系ビジネス関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模: 当日50名が対面、5,341名がオンライン参加

## 概要



武藤総領事挨拶



専門家パネル

- UCLA Anderson Forecast (UCLAが運営する経済系シンクタンク) が主催する**経済予測セミナー**に、**総領事館**として**専門家パネルディスカッション及びネットワーキングレセプションの実施**を支援。
- ワールド・トレード・センターLAのステューブン・チャン代表を司会に迎え、**日本、カナダ、台湾等のビジネス関係者を交えたオレンジ郡における外国企業の現状や貢献について紹介**。
- セミナー終了後に開催したレセプションでは、コロナ禍で減少したオレンジ郡を主な拠点とする日米企業間でのネットワーキングを実施し、**日米間の産官学の連携に係る取り組みや日米連携によるビジネス基盤強化について交流**。

## 効果



会場の様子



UCLA Forecast 2022 Orange County Economic Outlook

- 南カリフォルニア全体だけでなく、**オレンジ郡における日本の直接投資(雇用創出数)が継続して外国勢で最大であることについて広報**するとともに、**具体例として登壇した日系企業製品を引き合いに現地における日本の地域経済への貢献をアピール**。
- イベントの様子はYouTubeにアーカイブ動画をアップロードし、セミナー全体を通じて約9,486回再生を記録するなど事後的な継続広報にも寄与。  
<https://www.youtube.com/watch?v=oAK-iFMvb10>

## 日時等



- 実施日時: 2022年6月23日(木)
- 実施場所: シェラトンホテルLA
- 訴求対象: 米国政府関係者(連邦・州・市)、環境問題有識者、企業関係者、日系企業関係者等
- 開催規模: 412名が参加

## 概要



エリック・ガルセッティ  
ティLA市長挨拶



日・英・墨総領事による  
ディスカッション

- ワールドトレードセンター・ロサンゼルス(WTCLA)が主催する第7回目セレクトLAの開催を支援。**持続可能な世界経済や水素技術を含むエネルギーの脱炭素化に向けた議論**を実施。
- WTCLA代表のステューブン・チャン氏より、2022年版の「カリフォルニア・南カリフォルニア・ロサンゼルスにおける外国直接投資報告書」の発表がなされた。
- **ガルセッティ・ロサンゼルス市長等、米国政府関係者の挨拶、日系企業(トヨタ)が登壇する脱炭素化に関するブレイクアウトセッション**、現地主要国総領事によるパネルディスカッションを実施。

## 効果



ブレイクアウト  
セッション



会場の様子

- 米国政府関係者(連邦・州・市レベル)、ビジネス関係者等、53の国と地域から412名が参加した。
- 報告書では今回も日本が最大投資国(7年連続)として紹介され、日本からの南カリフォルニアへの直接投資は、76億ドル以上の賃金、7万4,486件の雇用を創出していることが発信された。
- **在ロサンゼルス総領事は、現地英国総領事やメキシコ総領事とのパネルディスカッションに参加し、世界経済の脱炭素化について、日本が世界と共有すべき政策について水素社会の実現を念頭に発信**することで国際社会の中での民間の経済協力の重要性を発信。

## City popイベントを利用した日本食プロモーションの実施 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



FONDA THEATER

- 実施日時: 2022年12月21日(水)
- 実施場所: FONDA THEATER
- 訴求対象: 日本食に馴染みのない非日系若手層
- 開催規模: 約900名

### 概要



フードPRの様子



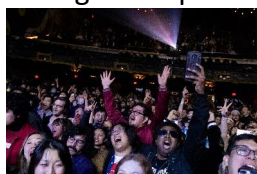
PRスペースでのパフォーマンス

- 世界的に日本の80's 音楽が見直されており、これまでは日本の音楽にあまり馴染みのなかった現地の若者層にもダンスミュージックとして浸透しつつあり、日本文化を感じてもらうための非常に効果的なツールとなっている。
- 本イベントでは、日本文化に接することを肯定的に捉える非日系層に対して、日本食を中心とするイベントとは異なる機会を利用し、**現地日本食関係者が取組に腐心している次世代の消費者となる若い世代をターゲットに日本食のPRを実施した。**
- JETRO・JNTOを含む政府系機関4団体や民間団体、JFOODOと連携し、Hollywoodにて音楽イベント「Japan City Pop Night」を開催し、メインフロアと自由に行き来できる**フードPRスペースにおいて、輸入商社から調達した日本産食材を調理して試食の機会を提供した。**また、メーカー協賛により来場者にお土産袋を配布した。

### 効果



Night Tempo



メインステージ観客



- City Popムーブメントをけん引するNight TempoやGinger Rootが出演したことで、**多くの非日系若手層が参加した。**
- 寿司、和牛、米、味噌汁、豆腐、菓子、ドリンクなどを提供し、**日本食のことを深く知らないロサンゼルス非日系若手層に対して、日本食の魅力を発信する機会**となった。
- 高品質な日本食を提供することにより来場者にとって満足度の高いイベントになっただけでなく、効果的なPRの機会を提供できたことにより、協賛企業からも高評価を得ることが出来た。

## 日時等



企業プレゼン

- 実施日時: 2023年2月6-2月24日
- 実施場所: ロサンゼルス港 (Alta sea)、公邸
- 訴求対象: 米系・日系ビジネス関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模: 400名

## 概要



制作パネル一例



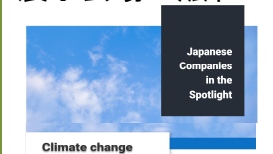
企業ブースで掲示



企業パネルを読み込む米国関係者



展示会場の賑わい



企業紹介webサイト

- コロナに伴う社会活動の制限が解除され、対面での交流や国際会議、展示会等の機会が元に戻りつつある中、企業紹介パネル制作並びに紹介Webサイトを通じた**気候変動やエネルギーといった国際的課題や物流・交通等の地域課題への貢献について発信した。**
- 特に水素を始めとする気候変動に関するイベントが数多く開催されている南カリフォルニアにおいては、**繰り返し日系企業の取組事例等を広報する素材を掲示し、立ち寄った米国関係者への説明を行うことで認知を高める支援を行った。**
- アリゾナ州で開催された半導体セミナーにおいても日系企業の進出状況などを紹介するなど多くの場面で活用。

## 効果

- 日本企業が国際的な課題や地域の課題に貢献していることをPRするパネルを作成し、総領事館が主催／共催するイベントや当館が参加するイベント等において展示することにより、招待客(当地政府要人や企業関係者など)に対して日本企業の社会貢献活動をわかりやすく紹介することが可能であった。**(イベント等の広報機会の有効活用)**
- 特に**関心を持った技術や特定の会社についてはその場で企業との連絡先交換を行うなどビジネス機会創出に一役買う取り組みとなった。**

## 日時等



- 2022年9月18日(日)～22日(木)
- 実施場所:ロサンゼルス・コンベンションセンター
- 訴求対象:企業関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模:64カ国から約6,000名が参加

## 概要



テープカット



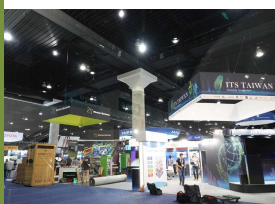
曾根総領事の日本企業ブース訪問

- ITS世界会議は、交通諸問題の解決に向けたITS (Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム)の研究開発・実用化について活動成果を発表、議論する国際会議。
- ロサンゼルス開催となった今回は、「**Transformation by Transportation**」とのテーマの下、**安全性、脱炭素化、デジタルインフラに焦点を当てた議論**が交わされた。
- 今回の**ITS世界会議の展示スペースには200社以上が**出展し、日本企業は約17社の参加によるジャパンパビリオンのほか、単独出展としてトヨタやホンダなどが出展した。
- テープカットには、**曾根総領事ほか、衆議院議員で自由民主党 ITS推進・道路調査会長の山本有二議員と、同じくITS推進・道路調査会の事務局長の塚田一郎議員ら20名ほどが**参加し、ジャパン・パビリオンや日本企業の展示ブースを視察。

## 効果



会場の様子



- ジャパンパビリオンでは、総領事館も、日系企業PRビデオ ([https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/newvideorelease.html](https://www.la.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/newvideorelease.html)) やパネルを用いて日系企業の南カリフォルニア州への経済貢献を発信することができた。
- **ジャパンパビリオンでは、累計760名の方々にお越し頂き、参加企業・団体の技術発信や意見交換の機会**となった。
- 集客企画としてBANDAI NAMCO TOYS & COLLECTIBLES AMERICA INC. (BNTCA)と連携し、本イベントに因んだ日本玩具の発信を行った。

# 環境国際会議VerdeXchange前夜祭レセプション及び 会議実施支援

【ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



- 実施日時: 2022年6月19日(日)~22日(水)
- 実施場所: 総領事公邸、オムニホテルLA
- 訴求対象: 米国政府関係者(連邦・州・市)、環境問題有識者、企業関係者、日系企業関係者等
- 開催規模: レセプション(166名)  
国際会議本体(753名)

## 概要



マイク・レビン連邦  
下院議員挨拶



参加者が日本食を  
楽しむ様子



専門家パネル



日系企業紹介パネル

- 現地環境系シンクタンクが主催する**環境国際会議VerdeXchangeの第15回目**の開催にかかる**公邸での前夜祭レセプション**及び会議本体の実施を支援。
- レセプションでは**日本食を振る舞うとともにワインとのペアリングを楽しんでもらい日本食のさらなる認知・普及**を行った。また会場には**日系企業紹介用のパネル**を展示し**現地における日本のビジネス分野における貢献をPR**する機会とした。
- 国際会議では**トヨタやホンダ等環境問題をリードする日系企業が登壇**し、加州政府関係者や環境有識者らとともに**米国及び加州との脱炭素化の取組**について議論。

## 効果

- 南カリフォルニアにおける最大の環境会議の一つであるVerdeXchangeにおいて、**日本の環境問題への取組について、米国連邦政府、州政府、有識者、企業関係者など様々な層での関係者に対して広報**することができた。
- レセプションでは連邦議員を始め州・市の公選議員や規制官庁長官の参加があり、**日本食を楽しんでもらいつつ日米経済関係強化のための日系企業とのネットワーキング**を行うことができた。

## ロサンゼルス港とJETROロサンゼルスによるMOU署名式 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2022年11月14日(月)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: ロサンゼルス港、関係日系企業
- 開催規模: 約40名

### 概要



署名式の様子



ガルセッティLA市長と曾根総領事



セロカLA港湾局長と瀧JETROLA所長

- **ロサンゼルス港とジェットロ・ロサンゼルス事務所の間で「港湾における環境対策・デジタル化」の情報共有の促進、技術協力に関する関係構築のための覚書(MOU)を締結し、その署名式を行った。**
- 両者はこれまでも様々な意見交換や活動を通じて、港湾運営や環境開発に関する情報を共有してきた中で、更なる協力関係の構築を目指すもの。
- 署名式には、ロサンゼルス港湾局長のセロカ氏、ジェットロ・ロサンゼルス事務所長の瀧氏のほか、立会人として、ロサンゼルス市長のガルセッティ氏と曾根総領事も署名式に参加。
- MOUの概要は以下の通り:
  - 港湾環境対策、デジタル効率化による海上サプライチェーンの最適化を推進する関係を構築することに合意。
  - 協力及びベストプラクティスの共有を促進し、両当事者間の議論、協議、知識及びアイデアの交換を行う。
  - 持続可能な港湾管理のために、競争力のある港湾運営と同時に、環境の持続可能性と最適な効率性のためのサプライチェーンのデジタル化を優先させることに合意。

### 効果



企業ブース



意見交換の様子

- 今回のMOUを機に、**ロサンゼルス港湾における、グローバルな市場競争力の向上、港湾技術革新の推進、業務効率の向上、排出ガスや温室効果ガスの削減といった環境面での日米協力並びに日系企業の事業参画の機会創出が期待される。**
- 署名式後のレセプションでは、水素技術に携わる日系企業のPRブースを設けたほか、港湾実務者やロサンゼルス市当局との意見交換を行う機会にもなった。

## 日時等



曾根総領事挨拶



満席となった会場



ガイエゴ フェニックス市長の講演



マーク・ケリー連邦上院議員のメッセージ

## 概要

- 実施日時: 2023年2月24日(金)
- 実施場所: アリゾナ州フェニックス市
- 訴求対象: 米系・日系ビジネス関係者、政府・経済団体関係者等
- 開催規模: 当日200名が対面参加(事後広報のためYoutubeにアーカイブ配信)

- フェニックス市などと協力のもと、米国の半導体のハブとして**急成長するアリゾナ州の半導体サプライチェーン**の最新動向をテーマとするパネルディスカッションを開催。
- フェニックス市長、マーク・ケリー連邦上院議員のビデオメッセージ、インテル社のオンライン登壇や近隣都市の副市長、メサ市議などハイレベルの参加があった。
- **日系企業**からは半導体素材大手のSUMCO、半導体部品供給大手の東芝や水処理技術をもつ日東電工らが登壇し、**日本の半導体関連分野での技術力を紹介**しつつ、日米経済協力の重要性について発信を行った。

## 効果



米国経済団体、周辺都市公選議員等とのレセプション



日本フルーツのPR

- 連邦政府の「CHIPSプラス法」の成立を追い風にアリゾナ州は半導体製造拠点の集積地として注目を集めており、TSMCやインテルが大型投資を投じる中で多くの日系企業(30社超)が参加し、行政、米系企業、経済団体との交流を通じたビジネス交流を創出。
- セミナー後に行われたレセプションでは、寿司ロボットを利用した寿司提供や焼き鳥、たこ焼き、和牛、メロンなど具体的に**アリゾナ市場への進出が見込まれる日本食のプロモーション**を介して業界の方に日本を知ってもらう機会とし、米側との商談を実施する機会としても活用された。



## 日時等



- 2021年4月19日(火)
- 実施場所:リトル・トーキョー/公邸
- 訴求対象:管轄地域の米国人
- 開催規模:リトルトーキョー:200名 公邸:90名

## 概要



- 日本のポップアイコンであるきゃりーぱみゅぱみゅ氏が、日本で地域活性化を目的とし、全国ツアーの連動企画で取り組んでいる「LOCAL POWER JAPAN project」を現地全米最大級の日本人町リトル・トーキョーで実現。コロナ禍を経て活動を再開する日系コミュニティ及び日系企業を日本のポップカルチャーを通じて支援することを目的として実施された。

- 公邸でのイベント前にはきゃりー氏が実際にリトル・トーキョーのコラボレーション店舗を訪問。日系企業・地域全体を盛り上げた。
- 公邸のイベントでは、総領事挨拶を始めとしASOBISYSTEM中川社長、きゃりー氏から本施策の説明を実施。さらに日系4世人材育成プログラムエンターテインメントサブグループとのエンターテインメントを通じた社会貢献に関するパネルディスカッションを行った。レセプションでは、リトルトーキョーとのコラボレーション商品をゲストに試食してもらう等の本施策のプロモーション活動を行った。

## 効果



- 本施策の様子は、日本のテレビ局(日本テレビ、フジテレビ、テレビ朝日)での放送のみならず、当地テレビ局KTLAの朝のニュース番組でも紹介された。さらには、ローカル紙3社にも取り上げられるなど、日本・ロサンゼルス双方で日本・日系文化の発信が広く行われた。これは、日米間の観光・ビジネス等の活性化と日米相互理解による経済効果に繋がると考えられる。
- リトルトーキョーの各店舗においても、それぞれSNSで本施策のPRを実施され、リトル・トーキョーのインスタグラムの投稿には、いいね1500以上がつかうなど米国人の良い反応が得られている。

## 日時等



- 実施日時: 2022年9月28日(水)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: ハリウッドのストリーミング配信やケーブル放送局でドラマ制作を行う企業関係者
- 開催規模: 15名

## 概要



曾根総領事の  
オープニング挨拶



日本のテレビ局  
によるピッチ



- JETROロサンゼルス事務所および米ユナイテッド・タレント・エージェンシー(UTA)と共催で、**日本のテレビドラマを北米でのリメイクにつなげるためのピッチ(売り込み)イベント**を開催。
- 公募で選ばれた日本テレビドラマ4作品について、海外リメイク権を持つ日本のテレビ局4社がハリウッドのコンテンツバイヤーおよびプロデューサーにピッチを行った。
- 当日参加した米国制作プロデューサーの話として、米国ではアイデア枯渇による類似コンテンツの増加が指摘され、**北米にないコンセプトを持つ海外作品のリメイク需要が高まっている**ことが伺えた。
- 冒頭での曾根総領事の挨拶においても、**撮影および映像制作拠点としての日本をアピール**し、今後の日本と海外のより活発なビジネス交流にも期待を寄せた。

## 効果



歓談の様子



- 米国の参加者からは「米国の映像業界は、リメイクや映像化できる原作を積極的に探している。**今回発表のあった作品も、テレビ局での放送やストリーミングでの映像化に合いそうだ。**」との声が聞かれ、各社に積極的に質問する姿が見られた。
- イベント会場では**日本食や日本酒を提供し、日本の食文化のPR**も積極的に行う等、日本を拠点とした映像制作に関する魅力の発信も行った。
- 同イベントでは例年、脚本制作に結びつく作品もあることから、**本機会を通じて継続的な日本コンテンツの紹介機会によってさらなる日本作品の海外進出が期待**される。

## Global Stage Hollywoodレセプション開催

【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等

GLOBAL STAGE  
HOLLYWOOD  
FILM FESTIVAL 2022

モンゴメリ氏の挨拶



曾根総領事の挨拶



## 概要

- 2022年10月28日(金)～30日(日)
- 実施場所: グローマンズ・チャイニーズ・シアター  
Japan House Los Angeles 5階サロン
- 訴求対象: ハリウッドのメジャー映画配給会社
- 開催規模: 約200名

- Global Stage Hollywoodは、南加日米協会の前会長のダグラス・モンゴメリ氏が立ち上げる日本テイストを残したロサンゼルスでの世界映画祭。
- 日本映画を中心とした映画上映やイベントが行われ、レセプションでは**映画関係者間での交流を促進し、ビジネス機会創出を支援**する。
- 新型コロナの影響で休止していた日本映画祭が、今年には新たな映画祭として、諸外国作品も取り入れたイベントとなった。
- オープニング作品では、西野亮廣原作・脚本のアニメーション映画「えんとつ町のプペル」が上映され、米国作にはないユニークな表現描写などが当地映画関係者に評価された。
- 同企画は過去2011年～2015年は「LA Eiga Fest.」、2019年に「Japan Cuts Hollywood」、2020年には「Japan Connects Hollywood」として**日本映画をハリウッドでPRするイベントにルーツを持ち、日本発の映像コンテンツ発信に長年寄与**している。

## 効果

- 映画上映に続き開催した映画関係者を招いたレセプションでは、**寿司、ラーメン、焼酎、メロン、チーズタルトやジュース**などを提供し、ハリウッドの業界関係者に対して**日本の食文化を提供する機会**となった。
- 訪日映像制作、あるいは日本からのハリウッドへのコンテンツ発信に協力する日本航空がPRを行った他、**日本発コンテンツとしてアニメ文化、キャラクターフィギュアに関する日本玩具を発信**することができた。

## 若手日系人と連携したイベント

### 「Power and Beauty of Relationships」の開催

#### 【在ロサンゼルス総領事館】

#### 日時等



- 実施日時: 2022年5月11日(水)
- 実施場所: Specialguest at Arts District  
(イベント会場)
- 訴求対象: 主に若手日系人ビジネス関係者
- 開催規模: 30名

#### 概要



- 2021年8月に立ち上がった**LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiative**のサブグループの一つである**ダイバーシティ・女性活躍グループ**との共催にて、日米における女性活躍をテーマとしたイベントを開催。
- 参加者は、**若手女性を中心とした日系人及び日本人ビジネス関係者**。
- ゲストスピーカーに**NPO法人ウィメンズアイ石本めぐみ代表**を招き、オンラインでの講演・質疑応答を実施。
- 続いて、**女性活躍**や**日米関係**をテーマとした少人数でのグループディスカッション及びレセプションを行った。

#### 効果



- **LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiative**は、未来の日米関係の中軸を担う若手日系人の育成を目的としており、本イベントは、若手日系人リーダーにとって、**若手日本人ビジネス関係者との中長期的な関係を構築**する契機となった。
- **日米共通のテーマである「女性活躍」に焦点をあてたイベントを行うことで、これまで比較的露出の少なかった日米若手女性ビジネス関係者間の相互理解を促進**することができた。
- 参加者より、今後も同様の交流機会を提供してほしいといった声が多数寄せられ、若手日系人・日本人双方からの交流意欲を再確認することができた。

93

## 日系4世人材育成プログラム

### 「LA Next Generation Japanese American Leaders Initiative」 サブコミッティ正式発足祝賀レセプション

【在ロサンゼルス総領事館】

#### 日時等



- 実施日時: 2022年10月11日(火)
- 実施場所: Toshizo Watanabe Culinary & Cultural Center at JACCC(日米文化会館)
- 訴求対象: 若手日系人、日本人ビジネス関係者
- 開催規模: 55名

#### 概要



- 発足2年目を迎えた**日系4世人材育成プログラム「LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiative」**において、メンバーの募集・選考プロセスを経て、4つの**サブコミッティ(ビジネス、エンタメ、ダイバーシティ/女性活躍、政治)**が正式に活動を開始したことを祝賀するイベントを開催。
- サブコミッティに加入した若手日系人、若手を中心とした日本人ビジネス関係者、本プログラムを支援する現地日系人シニアリーダーが参加。
- 総領事による挨拶に続き、各サブコミッティの代表者より、加入メンバー及び今後の活動方針の紹介を行い、コミュニティからの支援を求めた。
- スポンサーとして飲料提供を行ったiichiko USA社による焼酎PRの後、ネットワーキングが行われた。

#### 効果



- LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiativeは、未来の日米関係の中枢を担う次世代日系人リーダーの育成を目的としているところ、本イベントを通じて、**サブコミッティの正式メンバーと活動方針について、日系企業関係者からの認知及び理解を得ることで、今後の連携に繋げていく契機**となった。
- 本取り組みの影響を受け、JBA(南カリフォルニア日系企業協会)でも若手育成の枠組みが組成されつつあり、**将来を担う若手日系人と日本人間でのより一層の関係強化が期待**される。
- 日本食(焼酎)PR機会としても活用することで、現地の日系人シニアリーダーから若手まで、幅広い層の日系人へ焼酎の魅力を広報することができた。

94

# 日系4世人材育成プログラムと連携した日本のエンターテインメント/ コンテンツ事業の発信と日米間企業連携強化に係る取組 【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



- 実施時期: 2023年2月9日(木)
- 実施場所: グラミーミュージアム
- 訴求対象: 管轄地域の米国人(メディア、エンターテインメント業界、インフルエンサー、各コミュニティ団体)
- 開催規模: 220名

## 概要



- JX23(ジャパックスオーバー2023年)は、日系4世グループのエンターテインメントサブグループと共に**日本の音楽・アニメ・WEB3.0業界における日本の最先端テクノロジーや企業、人材に焦点を当て**、各企業の紹介、表彰、パネルディスカッションを通して、過去・現在の取組、そして3つの業界の協同による将来の新たな展開の可能性について発信し、**米国のエンターテインメント業界における日本のプレゼンス向上と日米間の連携強化を行うことを目的として実施**した。本取組により、米国へのさらなる日本企業の浸透・市場を拡大を促進させ、今後の日系企業のビジネス機会創出に貢献したと考える。
- 当日は、日系企業のスタジオ地図、アソビシステム、Amuse Group USA、Animoca Brandsによるパネルディスカッションの他、世界的ミュージシャンMIYAVI氏によるパフォーマンス、日本文化発信の貢献を称え、ONE OK ROCK、スタジオ地図をJX committee及びカリフォルニア州、ロサンゼルス郡より表彰した。

## 効果

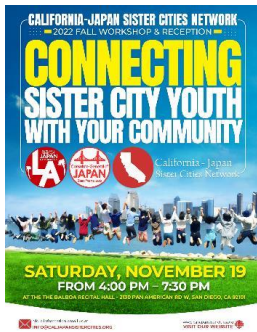


- 本施策は、**日本のテレビ局(日本テレビ、NHK、NHKワールド)および地元有力局ABCのニュース番組にて放送された他、ハリウッドの業界メジャーメディア(Deadline、Character media、Cominbook Japan forward等)**や本イベントに参加した**現地インフルエンサーのSNSで拡散**されるなど、日本・ロサンゼルス双方において日本のコンテンツやテクノロジーの発信が広く行われた。日米相互理解を通し、米国における日本の経済促進に繋がると考えられる。
- イベントへ参加したMIYAVI氏やスタジオ地図、アソビシステムのアカウントからも本施策が発信された。

## 南カリフォルニアにおける姉妹都市との 連携によるイベントの開催

【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



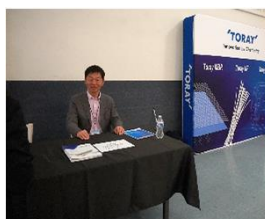
- 実施日時: 2022年11月19日(土)16:00~19:30
- 実施場所: Balboa Recital Hall(カリフォルニア州サンディエゴ市)
- 訴求対象: 主に南カリフォルニアの姉妹都市関係者、日系企業関係者及び学生
- 開催規模: 70名

### 概要



- 日本の都市と姉妹都市を締結しているカリフォルニア州に所在する姉妹都市協会関係者が運営する非営利組織、**日カリフォルニア姉妹都市ネットワーク**と連携し、**カリフォルニア州の姉妹都市関係者・現地日系企業関係者・学生参加によるネットワーキングイベント**を実施。
- 基調講演では、サンディエゴ州立大学に在籍し同大学日本人学生会会長のライアン・トミタ氏より陸前高田市での**国際インターンの経験が紹介**された。
- 後半は姉妹都市関係者、日系企業関係者、学生の混合による計7つのグループに分かれて、**姉妹都市と企業の連携等をテーマにグループディスカッション**を行った後、ネットワーキングレセプションを実施し閉会した。

### 効果



- 本イベントを通じ、これまで交流する機会がなかった姉妹都市関係者と日系企業関係者との**関係構築に繋がった**とともに、**互いの活動について理解を深める機会**となった。
- グループディスカッションでは、**姉妹都市関係をベースとした日米関係が、今後、未来を担う学生やビジネスとどう結びつき発展させていけるのか**、参加者間で活発な議論がなされた。
- 基調講演に登壇したトミタ氏と**本イベントに参加した日系企業とでインターンシップの機会創出**の検討を開始するなど、既に実質的な取組に繋がっている。
- 日系企業関係者から、姉妹都市活動についてもっと知りたいという要望もあり、企業からの交流意欲を確認することができた。

# 焼酎・泡盛PRイベント「Savor Japanese Craft Spirits!」 【在ロサンゼルス総領事館】

## 日時等



- 2023年2月21日(火)
- 実施場所: JAPAN HOUSE Los Angeles
- 訴求対象: レストランやバー等の飲食業界関係者、フードジャーナリスト等
- 開催規模: 約60名

## 概要



上野氏によるセミナー



クラモト氷業のセミナー



ハイボール講座



テイastingセッション



飲み比べブース

- 当地では、焼酎に対する一般的な認知度は日本酒や日本産ウイスキーと比べて極めて低く、当地市場での取扱いは極めて限定的である。日本人や日系人を中心とした日系市場だけでなく、ローカル市場での知名度向上を図ることが重要となっている。
- 本イベントでは、日本食普及の親善大使である上野氏により、焼酎・泡盛の基礎知識から味わいや香りのバリエーション、飲み方に関するセミナーが行われた。
- クラモト氷業によるセミナーでは、焼酎・泡盛等によく合う日本産の高品質な氷の紹介も行われた。
- また、セミナー後は、「いいちこ」「南海焼酎」「奄美黒糖」などのブースにて焼酎の飲み比べができる空間を提供した。
- 他にも、焼酎や泡盛に関する理解を深めるために、ロサンゼルスで活躍するThunderboltとDeath&Co. バーのミクソロジストによるハイボール講座と少人数限定の焼酎テイastingセッションが行われた。

## 効果

- 原材料が多様な焼酎は、その多様性から外国人にとって分かりづらい商品であるが、セミナーからのテイastingの空間を作ったことで、焼酎・泡盛の認知・理解度向上に繋がった。
- 飲み比べブース、カクテルの提供やハイボール講座、テイastingセッションを通じて、焼酎・泡盛の魅力、カクテル素材としての可能性を認識してもらう機会となった。



## アジア系ビジネス関係者ラウンドテーブル開催 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 2023年3月27日(月)
- 実施場所: City Club Los Angeles
- 訴求対象: アジア系ビジネス関係者
- 開催規模: 約50名

### 概要



マクルーン氏による  
冒頭挨拶



サユータ氏による  
貿易に関する説明



治安に関するパネ  
ルディスカッション

- 世界貿易センター機構ロサンゼルス(World Trade Center Los Angeles)との共催で、アジア系ビジネス関係者交流イベントを開催。
- アジア系ビジネス関係者に関心の高い議題をテーマに有識者が講演・議論を行うことで、**アジア系ビジネス関係者の連帯を醸成することが目的**。
- ロサンゼルスでは、存在感が比較的大きいもののマイノリティであるアジア系(日本、中国、台湾、韓国、ベトナムなど)のビジネス関係者や団体が、**ビジネスの障壁・課題を取り払うために一丸となって連携することが、当地のビジネス環境作りに必要不可欠**。
- 本イベントではまず、WTCLA経済アナリストのマクルーン氏及び商務省サユータ氏により、南カリフォルニアの**経済予測**や**太平洋間貿易に関する概要説明**が行われた。
- パネルディスカッションでは、ロサンゼルス郡保安官事務所のエリン・リウ軍曹、市民リーダーや政策アドバイザーを務めるアレクサンダー・キム氏、ロサンゼルス市警察(LAPD)ヘイトクライムコーディネーターのオーランド・マルティネス刑事を招き、**聴衆との質疑応答形式にて治安についての議論が行われた**。

### 効果



質疑応答スタイル  
で共通課題を議論  
する場となった

- アジア系のビジネス関係者が集まり、**経済情勢についてのブリーフィングだけでなく、ロサンゼルスにおける治安問題など、共通の課題を議論する場**となった。
- 特に、**増加を続けるホームレスによる不法侵入といった治安問題、アジア人向けのヘイトクライムなど、最近注目されているトピックに焦点が当てられ、参加者間で課題や対応方法を共有した**。

## JET卒業生や日本語学習者を招いた日系企業キャリアイベント 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



曾根総領事挨拶

- 実施日時: 2023年3月11日(土)
- 実施場所: 日本文化会館: JACCC(ロサンゼルス)
- 訴求対象: JETプログラム卒業生、日本語学習者、州立大学教員、スタッフ、学生等
- 開催規模: 100名



満席となった会場

### 概要



日系企業の登壇

- 南カリフォルニア日系企業協会(JBA)、JETアルムナイ、日本語教師会の協力を得て、日系企業キャリアイベントを開催。
- 語学教師としての訪日経験や日本語学習の経験を**日米間での架け橋となるキャリア形成**を支援する目的の他、**日系企業が抱える課題**(高い離職率、人材不足等)に対して日本への理解が深い人材との**双方のニーズを掛け合わせる**機会として実施した。
- 日系企業からのキャリアパスのプレゼンの後、JETプログラムの卒業生と日本語学習者等で構成された参加者は、参加企業を回り、ネットワークを広げ、企業関係者にとって企業活動を広く地域の若年層へ発信する機会となった。



登壇企業の説明

### 効果



企業ブースに集まる参加者

- 当日参加者の内、**半数は州立大学生や大学院生で構成**されており、日本に関心のある**若年層と日系企業との接点を構築**する機会として双方から大きな反響が寄せられ、次回の開催を望む声が多く届く結果となった。
- 参加者の約8割は総領事館のイベントへの参加が初めてであり、**8割超の参加者が日本の好感度が上がったと回答**があった。
- 関心が高かった分野としてはエンタメ、航空・旅行業などのサービス業であったが、次回以降に製造業などテクノロジーに関する企業の参加を増やしてほしいとの希望も聞かれた。



企業人事担当らとの歓談

99

## LA Next Generation Japanese American Leaders Initiative カケハシ・プロジェクトによる訪日成果報告レセプション 【在ロサンゼルス総領事館】

### 日時等



- 実施日時: 2023年2月22日(水)
- 実施場所: 総領事公邸
- 訴求対象: 若手日系人、若手日本人ビジネス関係者、当地日系コミュニティシニアリーダー
- 開催規模: 60名

### 概要



- 本年1月15日～22日の日程で、**LA Next Generation Japanese American Leaders Initiative**を発足当初より**企画・運営**してきた**Steering Committee 5名**が**カケハシ・プロジェクト**を通じて訪日したことを受け、**訪日成果報告イベント**を開催。
- 参加者は、同Initiative所属の若手日系人、JBA(南カリフォルニア日系企業協会)における若手育成プラットフォームNext Generation Forumのメンバー、本プログラムを支援する当地日系人シニアリーダー。
- 総領事による挨拶に続き、Steering Committeeより訪日に関するプレゼンテーションが行われ、今後の活動に繋がる気付きが共有された。
- プレゼン後は、活発な質疑応答に続き、参加者間でのネットワーキングが行われた。

### 効果



- LA Next Generation Japanese American/Yonsei Leaders Initiativeは、未来の日米関係の中枢を担う次世代日系人リーダーの育成を目的としている。当該Initiativeのメンバーが訪日し、多数の会合を重ね幅広い業界で活躍する若手日本人との交流を通じて得られた気付きが当地の日系人に共有されることで、若手日系人の対日理解深化および日本人との交流意欲向上に繋がり、次世代日系人リーダーの裾野拡大に寄与した。
- 招へい参加者は、当地でのJBAとの継続的な交流の重要性を強調しており、本イベントに参加したNext Generation Forumと次年度開催するサブコミティイベントでの具体的連携に向けた足がかりとなった。